

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

各部のなまえ

準備する

撮影する

再生する

ネットワーク機能を使う

編集する

メニューで設定を変更する

困ったときは

その他



お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

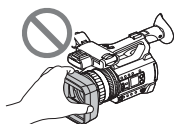
XDCM

使用前に必ずお読みください

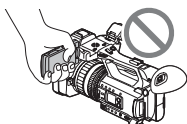
お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

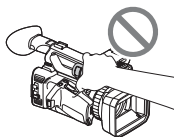
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。



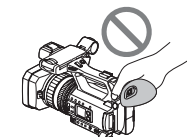
レンズカバー付き
フード



液晶モニター



マイク(別売)または
マイクホルダー



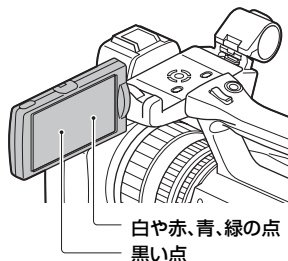
ファインダー

ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」(140ページ)もご覧ください。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機をご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

液晶モニター、レンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



太陽光についてのご注意

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部の部品が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結露すると、火災の原因となります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けしないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。

本機やバッテリーの温度について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターもしくはファインダーにメッセージが表示されます(124ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声がか乱れた場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調節することで現象が軽減されます(43ページ)。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。

本機で記録した画像をパソコンで扱うには

ソフトウェアをダウンロードしてください(19ページ)。

画像が正しく記録・再生されないときは[MEDIA FORMAT]してください

長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT](96ページ)を行ってください。

本機の実操作方法について

本機では、**▶/◀/▶/▶/SET** ボタン(98ページ)で操作できます。

本書について

- [60i/50i SEL]を変更すると、[REC FORMAT]などで設定できる数値が変わります。本書では、[60i]選択時、[50i]選択時の数値を併記しています。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

目次

使用前に必ずお読みください.....	2
--------------------	---

各部のなまえ

各部のなまえ.....	8
本体.....	8
ワイヤレスリモコン.....	16
画面表示.....	17

準備する

準備1:付属品を確かめる.....	19
準備2:バッテリーを充電する.....	21
準備3:アクセサリシューを取り付ける.....	23
準備4:電源を入れて日時を合わせる.....	24
電源を入れる.....	24
日時を合わせる.....	24
準備5:液晶モニターとファインダーを調節する.....	26
液晶モニターを使う.....	26
ファインダーを使う.....	26
ファインダーを見やすく調節する.....	26
液晶モニター表示/ファインダー表示を切り換える.....	27
準備6:メモリーカードを入れる.....	28

撮影する

撮影する.....	30
撮影する.....	30
メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録).....	32
メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録).....	33
START/STOP ボタンとハンドル録画ボタンの設定を変える.....	33
ズームする.....	34
フォーカスを調節する.....	35
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス).....	35
検出した顔にピントを合わせる(顔認識).....	36
記録方式と録画フォーマットを選ぶ.....	38
本機で選べる記録方式.....	38
メニューで記録方式と録画フォーマットを設定する.....	38
4K モード記録中の出力先を設定する.....	39
プロキシ記録をする.....	40
プロキシ記録時のご注意.....	40
プロキシ記録する.....	40
明るさを調節する.....	41
アイリスを調節する.....	41

ゲインを調節する	42
シャッタースピードを調節する	43
光量を調節する (ND フィルター)	43
色合いを調節する	44
自然な色合いに調節する (ホワイトバランス)	44
音の設定をする	46
内蔵マイクで収録する	46
外部音声機器などで収録する	47
マルチインターフェースシュー対応マイク (別売) で収録する	47
好みの録音レベルに設定する	48
ヘッドホンの音声を設定する	48
便利な機能を使う	49
状況に合わせて撮る (オートモード設定)	49
薄暗い場所で撮る (LOW LUX)	50
暗い場所で撮る (NIGHTSHOT)	50
あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)	51
タイムデータを設定する	57
HFR (ハイフレームレート) でスローモーション撮影する	58
スロー&クイックモーション撮影する	58
最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)	61
ASSIGN ボタンに機能を割り当てる	62

再生する

本機で再生する	64
再生する	64
本機の設定を変更 / 確認する	68
画面表示を切り換える	68
再生時に情報を表示する (データコード)	68
本機の設定を確認する (ステータスチェック)	69
モニターやテレビにつなぐ	70
外部出力用の端子を選ぶ	70
出力信号のフォーマットについて	72

ネットワーク機能を使う

スマートフォンと組み合わせて使う	78
「Content Browser Mobile」をダウンロードする	78
スマートフォンを本機のリモコンとして使う	78
NFC 機能搭載の Android スマートフォンでワンタッチ接続する	79
NFC を使わずに接続する (Android)	80
NFC を使わずに接続する (iPhone または iPad)	81
無線LANの設定をする	82
アクセスポイントを選んで登録する	82
WPS 機能を使ってアクセスポイントを登録する	83
WPS PIN 方式を使ってアクセスポイントを登録する	84

目次(つづき)

アクセスポイントを手動で登録する	84
機器名称を変更する	85
有線LANの設定をする	86
ストリーミング(STREAMING)機能を使う	87
ストリーミング対応フォーマット	87
ストリーミングの設定をする(プリセット登録)	87
ストリーミング配信する	88
FTP転送機能を使う	90
FTP サーバーを登録する	90
FTP サーバーを選択する	90
FTP 転送する	90
FTP 転送結果を確認する	92
ルート証明書を読み込む	92
ネットワーク設定をリセットする	93

編集する

動画を保護する(プロテクト)	94
動画を分割する	94
動画を削除する	95
メモリーカードを初期化する	96
メモリーカードのデータを完全に消去する	96
管理ファイルを修復する	97

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	98
メニュー一覧	99
CAMERA SET メニュー	99
REC/OUT SET メニュー	102
AUDIO SET メニュー	104
DISPLAY SET メニュー	107
TC/UB SET メニュー	110
NETWORK SET メニュー	112
OTHERS メニュー	114
EDIT メニュー	116

困ったときは

故障かな?と思ったら	117
警告表示とお知らせメッセージ	124

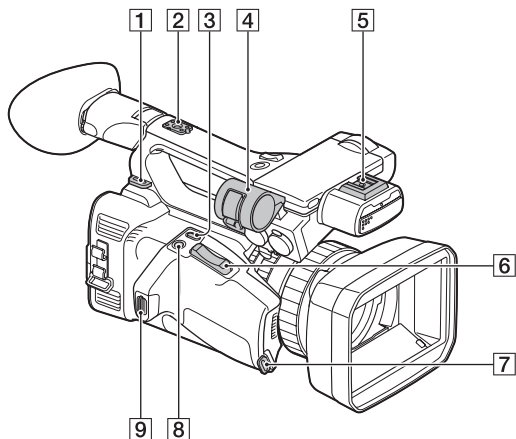
その他

記録時間について	128
記録時の機能制限について	131
記録方式ごとの制約	131
スロー& クイックモーションおよびハイフレームレート撮影時の制約	132
プロキシー記録対応フォーマット	133
ストリーミング対応フォーマット	134
海外で使う	136
メモリーカードのファイル / フォルダ構成	137
使用上のご注意とお手入れ	138
XAVC 規格について	138
MPEG 規格について	138
AVCHD 規格について	138
メモリーカードについて	138
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	139
本機の取り扱いについて	140
主な仕様	143
保証書とアフターサービス	146
索引	147

各部のなまえ

本体

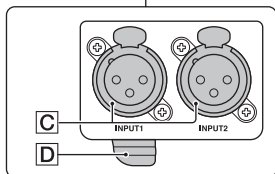
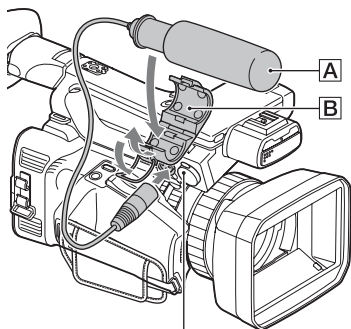
()内は参照ページです。



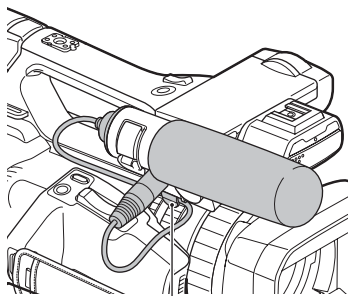
- 1 ショルダーストラップ取り付け部
- 2 アクセサリーシュー取り付け部 (23)
- 3 ASSIGN4/LAST SCENE ボタン (61)
- 4 マイクホルダー (9)
- 5 マルチインターフェースシュー (47)
- 6 ズームレバー (34)
- 7 グリップベルト取り付け部
- 8 ASSIGN5/FOCUS MAG ボタン (35)
- 9 グリップベルト取り付け部

マイク(別売)を取り付けるには

別売のマイクを使って音声を記録するときは、以下の手順を行ってください。

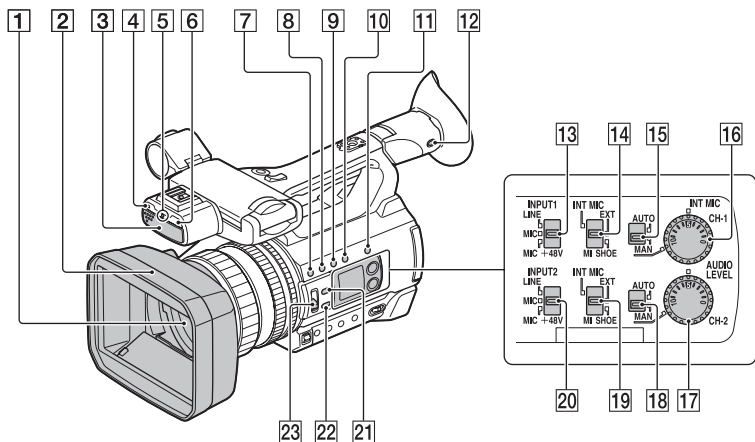


- ① マイク **A** をマイクホルダー **B** に取り付ける。
- ② マイクケーブルを INPUT1 端子または INPUT2 端子 **C** につなぐ。
- ③ 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー **D** に取り付ける。



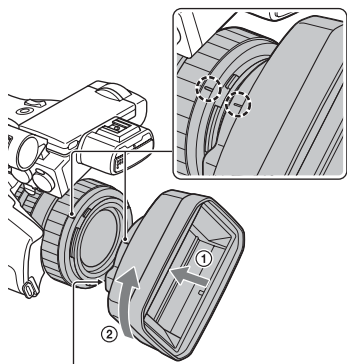
外側のホルダーに取り付ける。

各部のなまえ(つづき)



- 1 レンズ(G レンズ搭載)
- 2 レンズカバー付きフード(11)
- 3 内蔵マイク(46)
- 4 リモコン受光部(16)
- 5 録画ランプ(115)
メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 6 NIGHTSHOT(ナイトショット)発光部(50)
- 7 ASSIGN1/WB SET ボタン(45, 62)
- 8 ASSIGN2/STATUS ボタン(62, 69)
- 9 ASSIGN3/S&Q ボタン(58)
- 10 DISPLAY ボタン(68)
- 11 SLOT SEL ボタン(29)
- 12 ASSIGN6/VF/LCD PANEL ボタン(27)
- 13 INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(46)
- 14 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ(46)
- 15 AUTO/MAN(CH-1)スイッチ(46)
- 16 AUDIO LEVEL(CH-1)ダイヤル(46)
- 17 AUDIO LEVEL(CH-2)ダイヤル(46)
- 18 AUTO/MAN(CH-2)スイッチ(46)
- 19 CH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ(46)
- 20 INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(46)
- 21 IRIS AUTO/MAN ボタン(41)
- 22 FOCUS AUTO/MAN ボタン(35)
- 23 ND FILTER スイッチ(43)

レンズカバー付きフードを取り付けるには



PUSH(レンズフード取り外し)ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

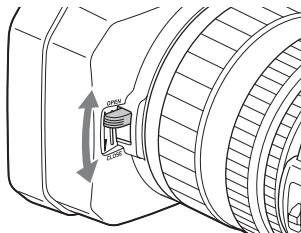
レンズカバー付きフードを取り外すには

PUSH(レンズフード取り外し)ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

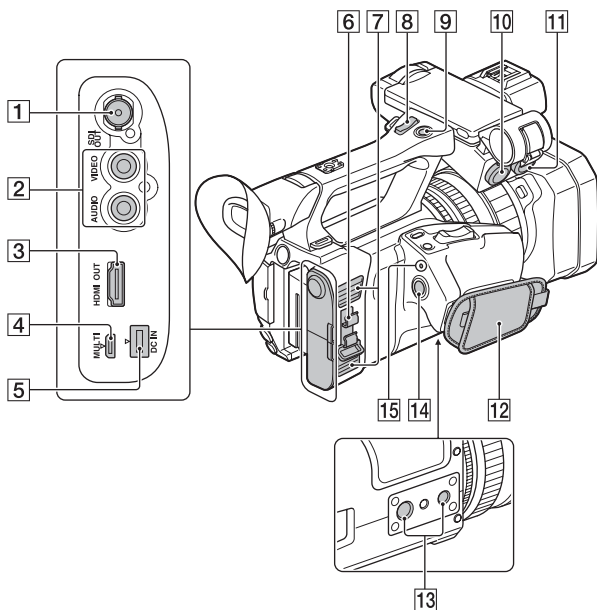
💡ちよつと言

- 直径62ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズフードを取り外してください。

レンズカバーを開閉するには
レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。



各部のなまえ(つづき)



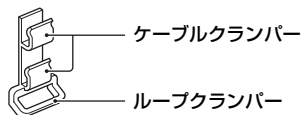
- ① SDI OUT 端子(70)
- ② VIDEO OUT 端子/AUDIO OUT 端子 (70)
- ③ HDMI OUT 端子(70)
- ④ マルチ / マイクロ USB 端子(70)
- ⑤ DC IN 端子(21)
- ⑥ ケーブルクランパー/ループクランパー
- ⑦ 給排気口
放熱のため熱くなることがあります。撮影時にふさがないようにしてください。
- ⑧ ハンドルズームレバー(34)
- ⑨ ハンドル録画ボタン(30)
- ⑩ INPUT1 端子(46)
- ⑪ INPUT2 端子(46)
- ⑫ グリップベルト

- ⑬ 三脚用ネジ穴(1/4 インチ、3/8 インチ) 1/4-20UNC、3/8-16UNC のネジに対応
三脚(別売、ネジの長さ 5.5mm 以下)を取り付けられます。
三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。
- ⑭ START/STOP ボタン(30)
- ⑮ POWER(電源)/CHG(充電)ランプ (31)

ケーブルクランパー/ループクランパーについて

コネクターに挿入した電源コードや HDMI ケーブルをケーブルクランパーに取り付けることで、電源コードや HDMI ケーブルが抜けにくくなります。ただし、すべての HDMI ケーブルには対応していません。

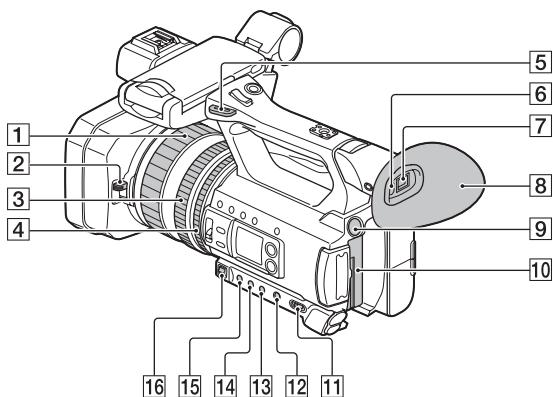
ケーブルクランパーに入らないケーブルは、市販の結束バンドなどを使用し、ケーブルクランパー下部のループクランパーに留めてください。



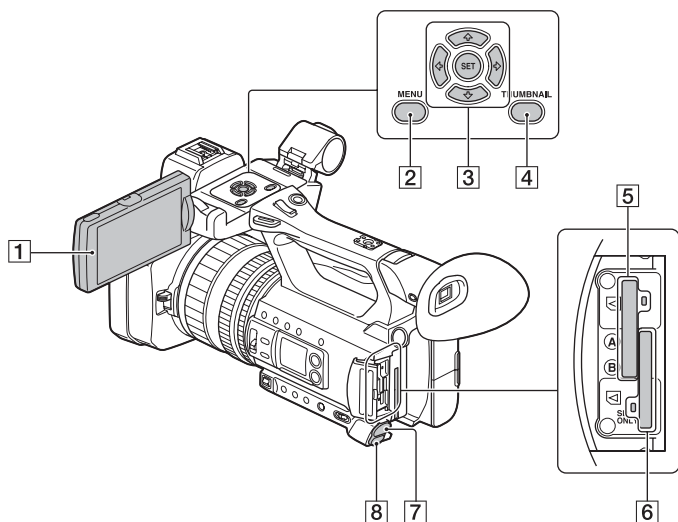
ⓘ ご注意

- ケーブルクランパー/ループクランパーはケーブル保持以外の用途(たとえばストラップなど)を取り付けて、カムコーダーを持ち運ぶなどには使用しないでください。

各部のなまえ(つづき)



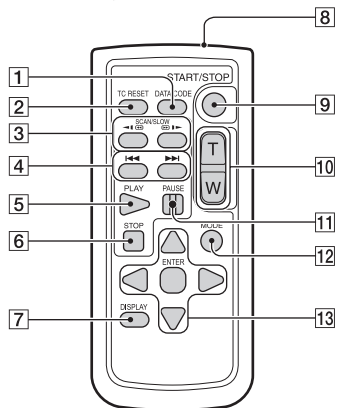
- 1 フォーカスリング(35)
- 2 レンズカバーレバー(11)
- 3 ズームリング(34)
- 4 アイリスリング(41)
- 5 ショルダーストラップ取り付け部
- 6 アイセンサー(26)
- 7 ファインダー(26)
- 8 大型アイカップ(26)
- 9 BATT RELEASE ボタン(22)
- 10 バッテリー(21)
- 11 ON/STANDBY スイッチ(24)
- 12 FULL AUTO ボタン(49)
- 13 SHUTTER ボタン(43)
- 14 WHT BAL ボタン(44)
- 15 GAIN ボタン(42)
- 16 マニュアルレバー(42、44)



- 1 液晶モニター(26)
- 2 MENU ボタン(98)
- 3 ▲/▼/◆/▶/SET ボタン(98)
- 4 THUMBNAIL ボタン(64)
- 5 メモリーカードスロット A/ メモリーカードアクセスランプ(28)
- 6 メモリーカードスロット B/ メモリーカードアクセスランプ(28)
- 7 ♪(ヘッドホン)端子(48)
- 8 REMOTE 端子(115)
REMOTE 端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



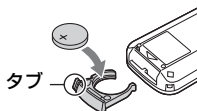
- 1 DATA CODE ボタン(68)
- 2 TC RESET ボタン(57)
- 3 SCAN/SLOW ボタン(64)
- 4 ◀▶ (PREV/NEXT) ボタン(64)
- 5 PLAY ボタン(64)
- 6 STOP ボタン(64)
- 7 DISPLAY ボタン(68)
- 8 リモコン発光部
- 9 START/STOP ボタン(30)
- 10 ズームレバー
- 11 PAUSE ボタン(64)
- 12 MODE ボタン
- 13 ◀/▶/▲/▼/ENTER ボタン

Ⓞご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

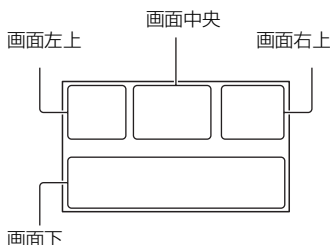
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池 (CR2025) が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
100%	バッテリー残量
	INTELLIGENT AUTO (顔認識/シーン認識/手ブレ) (49)
	SCENE SELECTION (49)
	録画フォーマット (38)
	光学ズーム(100)
Z99 x1.2 Z99 x2.3	全画素超解像ズーム (100) デジタルズーム(100)
	同時記録(33)
	リレー記録(32)
	プロキシ記録[ON] (40)

画面中央

表示	意味
	手ブレ警告
	メモリーカード(28)
REC STBY	撮影状態(31)
	警告(124)

表示	意味
	再生表示(64)
	処理中
	リレー記録(32)
	SDI/HDMI REC CONTROL(104)









画面右上

表示	意味
	VF/LCD PANEL(27)
0min	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00:00	タイムコード(時:分:秒: フレーム)(57)

画面下

表示	意味
	顔認識[ON](36)
PEAKING	ピーキング(107)
	ゼブラ(107)
	NFC有効(79)
	飛行機モード[ON](113)
	手ブレ補正() STEADYSHOT)(100)
	手動フォーカス(35)
	ピクチャープロファイル (51)
F5.6	アイリス(41)
9dB	ゲイン(42)
100 180°	シャッタースピード(43)
JDolbyD	AVCHD録音フォーマット (104)
-2.0EV	AEシフト(99)
	自動設定(41)
	ホワイトバランス(44)


画面表示(つづき)

表示	意味
	ヒストグラム(107)
	LOW LUX(50)
	音声レベル表示(109)
	デジタルエクステンダー (99)
	NIGHTSHOT(50)
	NDフィルター(43)
	マルチインターフェース シュービデオライト (101)
	手動音量調節(48)

👁️ ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、 (DISPLAY SET)メニュー → [DATA CODE] で表示したいデータを選ぶか、再生時にDATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押すと確認できます。

準備する

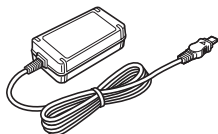
準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

- メモリーカードは別売です。

ACアダプター(21ページ)



電源コード(21ページ)



ワイヤレスリモコン RMT-845(16ページ)

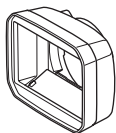


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

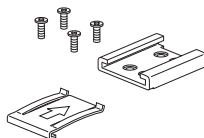
大型アイカップ(26ページ)



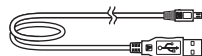
レンズカバー付きフード(11ページ)



アクセサリシューキット(アクセサリシュー(1)、シューパネ(1)、ネジ(4))(23ページ)



USBケーブル



CD-ROM「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」

取扱説明書 (2)

保証書

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をパソコンと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

本機を使ってリレー記録した動画を結合するなど、記録した画像をパソコンで扱う場合には、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。詳しくは同梱のチラシでご確認ください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ:

アメリカ合衆国:

<http://pro.sony.com>

カナダ: <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ:

<http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ

<http://www.pro.sony.eu>

準備 1 : 付属品を確かめる(つづき)

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

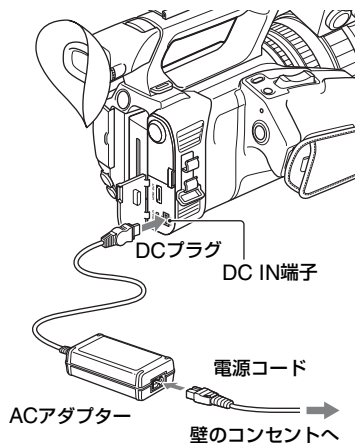
記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

準備2:バッテリーを充電する

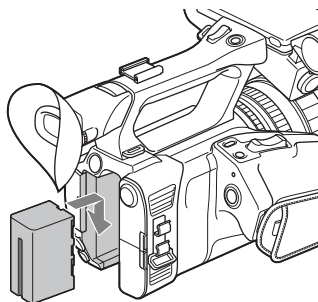
専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)(別売)を、ACアダプター(付属)を使って充電します。

ⓘ ご注意

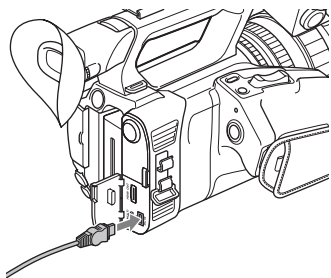
- 高容量バッテリーNP-F970(別売)がお使いいただけます。



1 バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



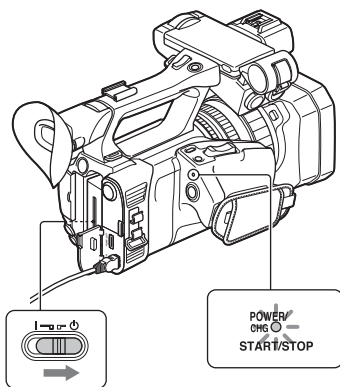
2 DCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。



3 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

4 ON/STANDBYスイッチを⏻(STANDBY)にする。

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。



準備2: バッテリーを充電する(つづき)

充電が終わると

充電が完了すると、CHG(充電)ランプが消灯します。

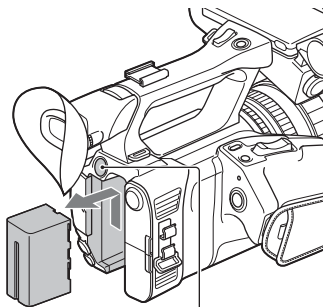
充電が終わったら、ACアダプターをDC IN端子から取り外してください。

☝ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(69ページ)。

バッテリーを取り外すには

ON/STANDBYスイッチをON(STANDBY)にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、上にずらしてバッテリーを取り外す。



BATT RELEASEボタン

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください(140ページ)。

充電時間

バッテリーを使い切った状態から充電したときにかかる、およその時間(分)です。

バッテリー型名	満充電
---------	-----

NP-F970(別売)	600分
-------------	------

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、ON/STANDBYスイッチをON(STANDBY)にしてから行ってください。
- 次のときは、充電中にCHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使うには

ACアダプターを使用すると、コンセントから電源を取れます。ACアダプター使用時は、バッテリーが取り付けられていても、バッテリー残量は減りません。

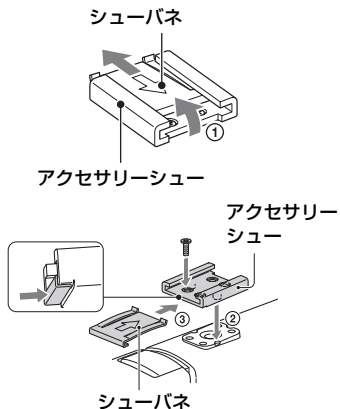
「準備2: バッテリーを充電する」(21ページ)の手順3まで行う。

ACアダプターについて

- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3:アクセサリースューを取り付ける

アクセサリースューを取り付けるには
アクセサリースュー取り付け部に図のよ
うに取り付けてください。



- ① シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- ② アクセサリースューの凸部とアクセサリースュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ③ シューバネを矢印の方向に挿入し、この字部分がアクセサリースューの端部にはまるように取り付ける。

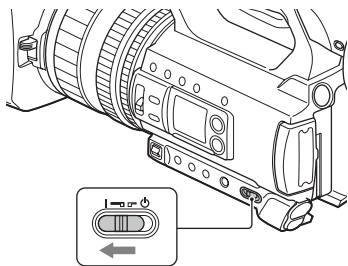
アクセサリースューを取り外すには
「アクセサリースューを取り付けるには」
の手順①と同様にシューバネを外し、ネジ
を緩めてアクセサリースューを外す。

準備4:電源を入れて日時を合わせる

電源を入れる

ON/STANDBYスイッチをI(ON)にする。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



電源を切るには

ON/STANDBYスイッチをO(STANDBY)にする。

ⓘ ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

日時を合わせる

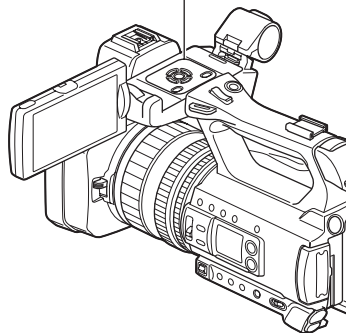
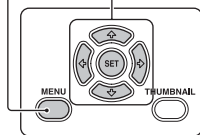
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。


🗨️ ちょっと一言

- 3か月近く使わないでおくとも蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(141ページ)。

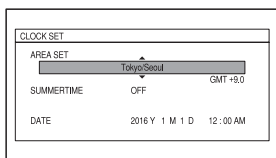
MENUボタン

↑/↓/←/→/SETボタン

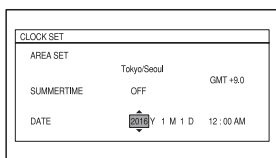


日時合わせをやり直すときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー → [CLOCK SET]を選んでください。

- ↑/↓/←/→/SET ボタンでエリアを選び、押して決定する。



2 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、▲/▼/▲/▼/SET ボタンを押して決定する。



時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

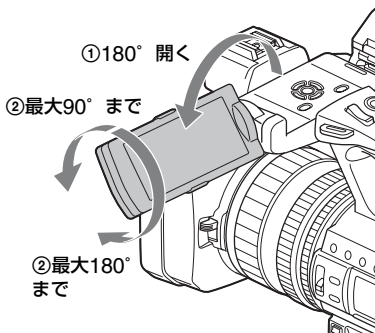
💡ちよつと一言

- 日付時刻は撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます(109ページ)。

準備5:液晶モニターとファインダーを調節する

液晶モニターを使う

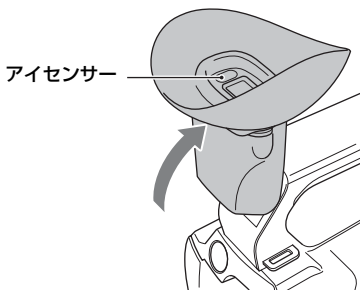
液晶モニターは下図の範囲で回転させられるので、撮影者以外が映像を確認することもできます。



ファインダーを使う

ファインダーに目を近づけるとファインダー横のアイセンサーが反応し、ファインダー表示になります。ファインダーから目を離すと、液晶モニター表示に切り換わります。

ファインダーは撮影スタイルに合わせて、角度を変えることができます。



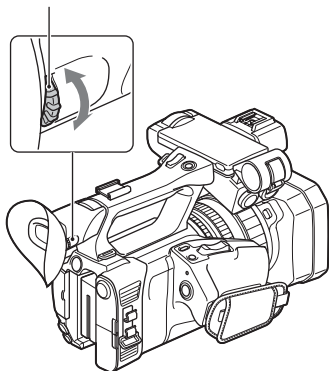
❖ご注意

液晶モニターとファインダー同時に使用することはできません。

ファインダーを見やすく調節する

視度調整ダイヤル

画像がはっきり見えるように動かす

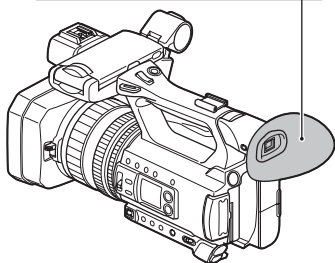
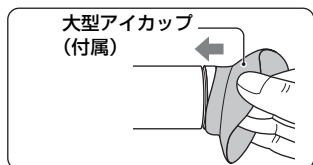


❖ご注意

- ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。




ⓘ ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカッブは取り外さないでください。

液晶モニター表示/ファインダー表示を切り換える

メニューで設定する

■ (DISPLAY SET)メニューの[VF/LCD PANEL] (110ページ)で以下のどちらかに設定します。

- 液晶モニターのみを使用するときは [LCD PANEL]を選ぶ。
撮影画面に  が表示されます。
- 液晶モニターとファインダーを自動で切り換えて使用するときには [AUTO]を選ぶ。
[AUTO]に設定すると、ファインダーに目を近づけるとファインダー横のアイセンサーが反応し、ファインダー表示になります。ファインダーから目を離すと、液晶モニター表示に切り換わります。

💡 ちょっと一言

- [VF/LCD PANEL]の出荷時の初期設定は [AUTO]です。

- ファインダーを覗かなくても、アイセンサーを遮ると、アイセンサーが反応します。

ボタンで切り換える

ASSIGN6/VF/LCD PANELボタンを押します。

押すたびに、メニューでの[VF/LCD PANEL]の設定が切り換わります。メニューにアクセスしなくても瞬時に切り換えることができます。

準備6：メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

記録方式	対応メモリーカード
AVCHD	SD、SDHC、SDXCメモリーカード(Class4以上またはU1以上) メモリースティックPRO デュオ (Mark2)、メモリースティックPRO-HG デュオ
AVCHD (スロー&クイックモーション)	SDHC、SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)
XAVC HD	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)
XAVC HD (スロー&クイックモーション、 ハイフレームレート)	SDXCメモリーカード(U3)
XAVC HD (プロキシ同時記録)	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)*1
XAVC QFHD	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)*2
XAVC QFHD (プロキシ同時記録)	SDXCメモリーカード(U3)
MPEG HD422/420	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)
MPEG HD422/420 (スロー&クイックモーション)	SDXCメモリーカード(U3)
MPEG HD422/420 (プロキシ同時記録)	SDXCメモリーカード(Class10またはU1以上)*3

*1 XAVC HD(50Mbps)/プロキシ(9Mbps)同時記録の場合は、SDXCメモリーカード(U3)が必要です。

*2 100Mbpsで記録する場合は、SDXCメモリーカード(U3)が必要です。

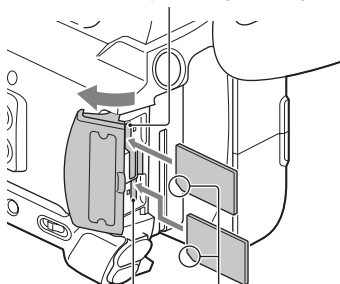
*3 MPEG HD422/プロキシ(9Mbps)同時記録の場合は、SDXCメモリーカード(U3)が必要です。

📌ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- メモリーカードの記録時間は128ページをご覧ください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT(SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

カバーを開けて、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」と音がするまで押し込む。

メモリーカードスロットA



メモリーカードスロットB

切り欠き部の向きに注意する。

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードスロットAは、「メモリースティック PROデュオ」とSDカードの両方に対応しています。メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

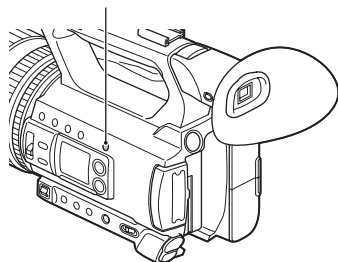
ⓘ ご注意

- [The image database file is corrupted. The media must be restored to use again.] と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(96ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

記録するメモリーカードスロットを選択するには

SLOT SELボタンを押して記録するスロットを切り換えます。選択したスロットは画面上で確認できます。

SLOT SELボタン



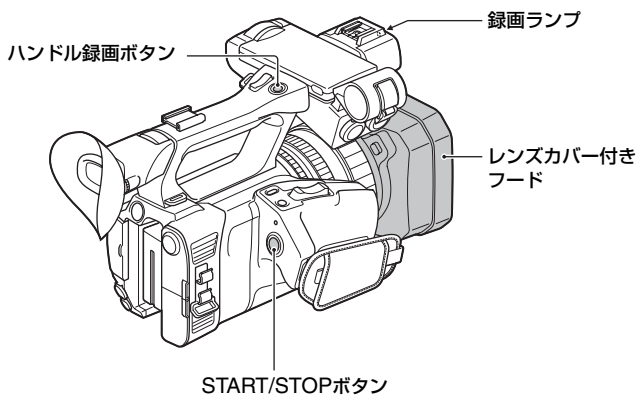
ⓘ ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの記録中に、SLOT SELボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

💡 ちよつと言

- メモリーカードが1枚だけ挿入されているときは、メモリーカードが挿入されているスロットが自動的に選択されます。

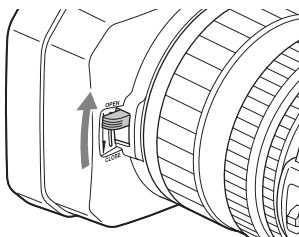
撮影する



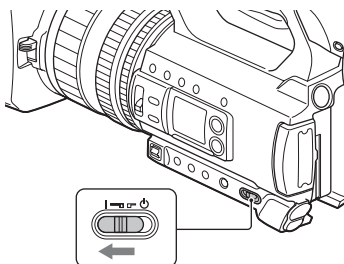
撮影する

本機は動画をメモリーカードに記録します。お買い上げ時は、XAVC HDで記録されます。下記の手順で撮影します。

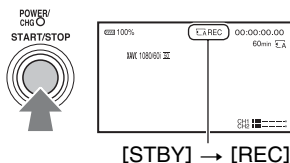
1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。



2 ON/STANDBYスイッチをI(ON)にする。



3 START/STOPボタン(またはハンドル録画ボタン)を押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

撮影を止めるには、START/STOPボタン(またはハンドル録画ボタン)をもう一度押します。

⚠️ ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 動画の記録時間については128ページをご覧ください。
- AVCHD記録の場合は、撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- XAVC/MPEG HDでは、記録ファイルが約6時間に達すると自動的に撮影が停止します。
- メニューの設定や、ピクチャープロフィールの設定、FULL AUTOボタンを使った設定はON/STANDBYスイッチを⊖(STANDBY)にすると保存されます。保存処理中はPOWER(電源)/CHG(充電)ランプが点滅します。

撮影する(つづき)

🗨️ちょっと一言

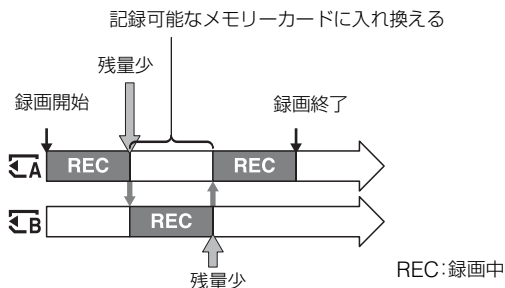
- 撮影中の画面表示の切り換えについては68ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については17ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます ([REC LAMP]、115ページ)。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録)

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A(またはメモリーカード B)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り換わります。

撮影前に以下の設定をしてください。

MENUボタンを押す → **▶/◀/▶/▶/SET** ボタンで、**⇄** (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [RELAY REC]にする。



📌ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にSLOT SELボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[**◀A → ▶B**]または[**▶B → ▶A**]が表示されます。メモリーカードスロットが切り換わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア(19ページ)を使用してください。
- リレー記録の記録可能時間は、XAVC/MPEG HDでは約6時間、AVCHDでは約13時間です。記録可能時間を超えると記録は停止します。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録)

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

MENUボタンを押す → $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンで、 \rightleftarrows (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [SIMULTANEOUS REC]にする。

START/STOPボタンとハンドル録画ボタンの設定を変える

SIMULTANEOUS RECを使用しているときには、START/STOPボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

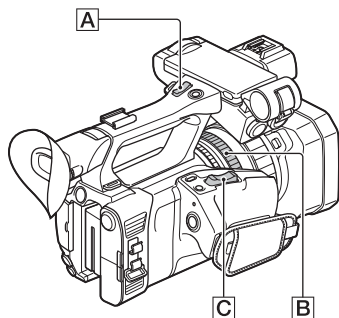
- REC BUTTON: $\overline{\square A}$ $\overline{\square B}$
- HANDLE REC BUTTON: $\overline{\square A}$ $\overline{\square B}$

設定を変えるには

MENUボタンを押す → $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンで、 \rightleftarrows (REC/OUT SET) → [REC SET] → [REC BUTTON SETTING]を選択する。

REC BUTTON SETTINGの設定	ボタンとメモリーカード
REC BUTTON: $\overline{\square A}$ $\overline{\square B}$ HANDLE REC BUTTON: $\overline{\square A}$ $\overline{\square B}$	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
REC BUTTON: $\overline{\square A}$ HANDLE REC BUTTON: $\overline{\square B}$	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
REC BUTTON: $\overline{\square B}$ HANDLE REC BUTTON: $\overline{\square A}$	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

ズームする



ズームレバーでズームする

ズームレバー[C]を軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームします。

🗣️ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約1m以上です。
- 被写体との距離が1m以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバー[C]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[C]の操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー操作時のズームタイプを選ぶことができます([ZOOM TYPE]、100ページ)。

ハンドルズームでズームする

ハンドルズームレバー[A]を押してズームします。

🗣️ちょっと一言

- ハンドルズームレバー機能のオン/オフ、およびズーム駆動速度を変更することができます([HANDLE ZOOM]、100ページ)。

ズームリングでズームする

ズームリング[B]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

🗣️ご注意

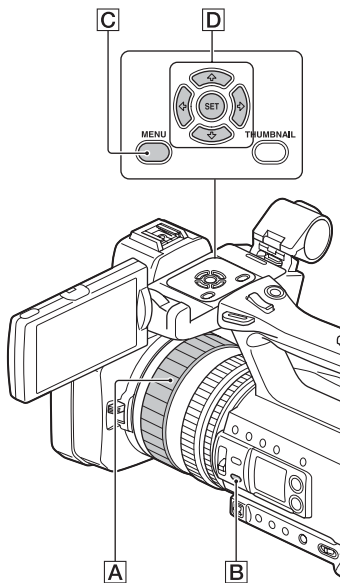
- ズームリング[B]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

フォーカスを調節する

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき
- 三脚で撮影する静止した被写体



1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUS AUTO/MANボタン[B]を押して、フォーカスを手動にする。

☞が表示されます。

2 フォーカスリング[A]を回してピントが合うように調節する。

☞は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

自動調整にするには

FOCUS AUTO/MANボタン[B]を押して、フォーカスを自動にする。
☞が消え自動調整に戻ります。

👉ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。
 - FOCUS AUTO/MANボタン[B]を押して、フォーカスを手動にして☞を表示させたとき
 - ☞表示中にフォーカスリング[A]を回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます([FOCUS DISPLAY]、109ページ)。

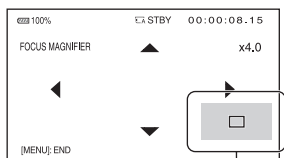
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)

選択された領域の画面を拡大して表示します。ピントが合っているかを確認するときに便利です。

ASSIGN5/FOCUS MAGボタンに[FOCUS MAGNIFIER]が割り当てられています(62ページ)。

ASSIGN5/FOCUS MAGボタンを押す。

画面中央が拡大されます。
押すたびに設定が切り換わります。



拡大表示位置

本機の $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleup/\blacktriangledown$ ボタンで拡大表示の位置を変更できます。SETボタンを押すと、拡大表示位置が中央に戻ります。

📢ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

🗣ちょっと一言

- [FOCUS MAG RATIO]で拡大する倍率を切り換えられます(108ページ)。

検出した顔にピントを合わせる (顔認識)

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます(お買い上げ時の設定は[OFF])。フォーカスが自動のときに使用できます。

1 MENUボタン \square を押す。

- 2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleup/\blacktriangledown$ /SET ボタン \square で、
📷 (CAMERA SET)メニュー
→ [FACE DETECTION] →
[ON]を選ぶ。

顔を検出すると、枠が表示されます。

- 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleup/\blacktriangledown$ /SET ボタン \square を押して
選択カーソル(オレンジ色の枠)を
移動して、優先する顔を選び、押し
て決定する。

選択カーソル(オレンジ)



優先顔枠(二重)

優先されている顔枠が二重枠に変わります。

優先顔を止めるには

- $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleup/\blacktriangledown$ /SET ボタン \square で優先設定している顔枠(二重枠)に選択カーソル(オレンジ色の枠)を合わせて、押し決定する。

📢ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。
- 全画素超解像ズーム中、デジタルズーム中、ナイトショット中は、メニューの[FACE DETECTION]がグレーアウトし、顔検出が無効になります。
- 下記の場合、顔検出はできません。
 - XAVC HD/QFHD記録時にストリーミングがONの場合
 - XAVC QFHD記録時にHDMI出力またはプロキシ記録がONの場合
- 顔認識の制約については、「記録時の機能制限について」(131ページ)および「スロー&クイックモーションおよびハイフレームレート撮影時の制約」(132ページ)をご覧ください。

👁️ ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます (62ページ)。
- 顔検出をしやすいするためには以下のような状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する。
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。
 - 顔をカメラ正面に向ける。

記録方式と録画フォーマットを選ぶ

本機で選べる記録方式

以下の5種類から選べます。(太字は初期設定)

- XAVC QFHD(4Kモード)
- **XAVC HD**
- MPEG HD 422
- MPEG HD 420
- AVCHD

メニューで記録方式と録画フォーマットを設定する

本機では、[FILE FORMAT]で記録方式、[REC FORMAT]で録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。

1 MENUボタンを押す。

2 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで、
⇄ (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [FILE
FORMAT] → **希望の記録方式を
選択する。**

3 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで、
⇄ (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [REC
FORMAT] → **希望の録画フォー
マットを選択する。**

XAVC QFHD(4Kモード)の場合

(太字は初期設定)

60i	50i
2160/30p 100Mbps	2160/25p 100Mbps
2160/30p 60Mbps	2160/25p 60Mbps

60i	50i
2160/24p 100Mbps	—
2160/24p 60Mbps	—

- 画サイズ:2160(3840×2160)
- フレームレート:30/25/24
- スキャン方式:p(プログレッシブ)
- ビットレート:100Mbps/60Mbps

XAVC HDの場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps
1080/60p 35Mbps	1080/50p 35Mbps
1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps
1080/60i 35Mbps	1080/50i 35Mbps
1080/60i 25Mbps	1080/50i 25Mbps
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
1080/30p 35Mbps	1080/25p 35Mbps
1080/24p 50Mbps	—
1080/24p 35Mbps	—
720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps

- 画サイズ:1080(1920×1080)/720(1280×720)
- フレームレート:60/50/30/25/24
- スキャン方式:p(プログレッシブ)/i(インターレース)
- ビットレート:50Mbps/35Mbps/25Mbps

MPEG HD 422の場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
1080/24p 50Mbps	—
720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps

- 画サイズ:1080(1920×1080)/720(1280×720)
- フレームレート:60/50/30/25/24

- スキャン方式: p(プログレッシブ)/i(インターレース)
- ビットレート: 50Mbps

MPEG HD 420の場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60i HQ	1080/50i HQ
1080/30p HQ	1080/25p HQ
1080/24p HQ	—
1080/60i(1440) HQ	1080/50i(1440) HQ
720/60p HQ	720/50p HQ

- 画サイズ: 1080(1920×1080)(1440×1080)/720(1280×720)
- フレームレート: 60/50/30/25/24
- スキャン方式: p(プログレッシブ)/i(インターレース)
- ビットレート: HQ: 35Mbps

AVCHDの場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60p PS	1080/50p PS
1080/60i FX	1080/50i FX
1080/60i FH	1080/50i FH
1080/30p FX	1080/25p FX
1080/30p FH	1080/25p FH
1080/24p FX	-
1080/24p FH	-
720/60p FX	720/50p FX
720/60p FH	720/50p FH
720/60p HQ	720/50p HQ

- 画サイズ: 1080(1920×1080)/720(1280×720)
- フレームレート: 60/50/30/25/24
- スキャン方式: p(プログレッシブ)/i(インターレース)

- ビットレート:
PS: 最大28Mbps
FX: 最大24Mbps
FH: 約17Mbps(平均)
HQ: 約9Mbps(平均)

[60i] 選択時のフレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

4Kモード記録中の出力先を設定する

XAVC QFHDで記録中の映像信号の出力先を選択することができます。

1 MENUボタンを押す。

- 2 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで、
⇄ (REC/OUT SET)メニュー
 → [VIDEO OUT] →
 [OUTPUT SELECT] →
 [QFHD REC OUTPUT] を選ぶ。

- 3 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで[VF/LCD PANEL]または[EXTERNAL OUTPUT]を選び、押して決定する。

選択値:

VF/LCD PANEL: ファインダー/液晶モニター

EXTERNAL OUTPUT: [OUTPUT SELECT]で選択した外部出力先

記録方式と録画フォーマットを選ぶ(つづき)

[QFHD REC OUTPUT]を
[EXTERNAL OUTPUT]に設定する
と、ファインダー/液晶モニターには記
録中映像が表示されなくなります

📌ご注意

- 以下の機能での記録中は、EXTERNAL OUTPUTに設定していてもファインダー/液晶モニターに出力されません。
 - ライブストリーミング中のメディアへの記録およびストリーミング配信
- [QFHD REC OUTPUT]の設定は、REC/OUT SETメニューの[FILE FORMAT]が[XAVC QFHD]のときのみ有効です。
- XAVC QFHDで記録中、以下のうちいずれか1つの機能を使うことができます。
 - 記録中外部出力
 - 顔認識機能
 - プロキシ記録(ただし、以下をすべて満たすときは使うことができません。)
 - REC/OUT SETメニュー → [REC SET] → [REC FORMAT]が100Mbpsのとき
 - REC/OUT SETメニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC]が[OFF]以外のとき

プロキシ記録をする

本機は高ビットレートのオリジナルファイルの動画を記録しながら、低ビットレートのプロキシファイルを同時に記録できます。

プロキシ記録時のご注意

プロキシ記録時の機能制限

プロキシ記録をする場合、本機には記録方式など、制限される機能があります。詳しくは、「記録時の機能制限について」(131ページ)をご確認ください。

プロキシ記録対応フォーマット



プロキシ記録ができるのは記録方式(FILE FORMAT)がAVCHD以外に設定されている場合です。また、記録されるオリジナルファイルの動画とプロキシファイルの映像のサイズには制約があります。詳しくは、「プロキシ記録対応フォーマット」(133ページ)をご確認ください。

プロキシ記録に使用できるメディア

「本機で使えるメモリーカード」(28ページ)をご確認ください。

プロキシ記録する

1 MENUボタンを押す。

- 2 /SET ボタンで、
 (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [PROXY
REC MODE] → [ON/OFF] →
[ON]を選ぶ。

撮影画面に **Px** が表示されます。

明るさを調節する

- 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンで、
 \rightleftarrows (REC/OUT SET)メニュー
 → [REC SET] → [PROXY
 REC MODE] → [SIZE] → 希
 望の画サイズを選ぶ。

- 4 録画ボタンを押して記録を開始する。

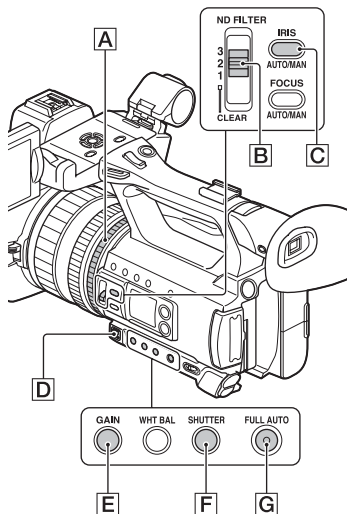
ⓘ ご注意

- XAVC/MPEG HDのファイル数が上限(600)に達した場合、本機では記録できません。

プロキシ記録ファイルについて

- プロキシ記録したファイルの保存場所については、「メモリーカードのファイル/フォルダ構成」(137ページ)をご確認ください。
- プロキシファイルは本機で再生できません。オリジナルファイルのサムネイルに **Px** が表示されます。
- オリジナルファイルを削除/プロテクトすると、プロキシファイルも削除/プロテクトされます。

アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルタースイッチ **B** を使って光量を調節したりすることで、明るさを調節できます。



ⓘ ご注意

- FULL AUTOボタン **G** をオンにすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

アイリスを調節する

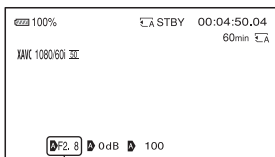
背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

- 1 FULL AUTOボタン **G** を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 IRIS AUTO/MANボタン[C]を押して、アイリスを手動にする。

アイリス値の横から[A]が消えます。



アイリス値

3 アイリスリング[A]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

一時的に自動調整にするには

任意のASSIGNボタンに[IRIS PUSH AUTO]機能を割り当てれば(62ページ)、そのASSIGNボタンを押している間だけ、自動で調整されます。

自動調整にするには

アイリス値の横の[A]が消えている状態からIRIS AUTO/MANボタン[C]を押す。アイリス値が消えるか、もしくはアイリス値の横に[A]が表示されます。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によって、値を上げたくないときに使います。

1 FULL AUTOボタン[G]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 GAINボタン[E]を押す。

ゲイン値の横から[A]が消え、ゲイン値が反転します。



ゲイン値

3 マニュアルレバー[D]で調整する。

設定値:

33dB、30dB、27dB、24dB、21dB、
18dB、15dB、12dB、9dB、6dB、
3dB、0dB(お買い上げ時の設定)、
-3dB

自動調整にするには

ゲイン値が反転表示している状態からGAINボタン[E]を押す。ゲイン値が消えるか、もしくは、ゲイン値の横に[A]が表示されます。

シャッタースピードを調節する

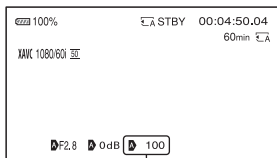
シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1 FULL AUTOボタン[G]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 SHUTTERボタン[F]を押す。

シャッタースピードの値の横から **A** が消え、シャッタースピード値が反転します。



シャッタースピード値

3 マニュアルレバー[D]で調整する。

選択値:

[60i] 選択時

1/8~1/10000(ただし、24p撮影時は1/6~1/10000)から選べます。

[50i] 選択時

1/6~1/10000から選べます。

シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

👉ちよつと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変わったりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/50、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。
- シャッタースピード表示は秒表示と角度表示で切り換えられます([SHUTTER DISPLAY]、109ページ)。

自動調整にするには

シャッタースピード値が反転表示している状態からSHUTTERボタン[F]を押す。シャッタースピード値が消えるか、もしくはシャッタースピード値の横に **A** が表示されます。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルタースイッチ[B]を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

アイリスを自動調節しているとき、**ND1** が点滅したときは、NDフィルター1に、**ND2** が点滅したときはNDフィルター2に、**ND3** が点滅したときはNDフィルター3にします。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

NDoff が点滅したときは、NDフィルタースイッチ[B]を「CLEAR」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

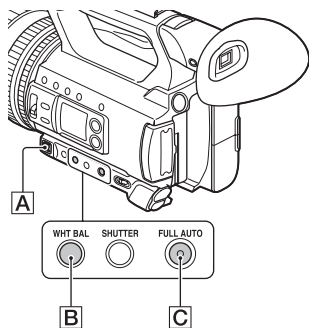
ⓘ ご注意

- 撮影中にNDフィルタースイッチ[B]を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
- NDフィルターの位置(CLEAR/1/2/3)を検出できないときは、画面上にNDが点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

💡 ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルタースイッチ[B]を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(☑A)またはB(☑B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ

📷 (CAMERA SET)メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

💡 ちょっと一言

- [WB PRESET]をASSIGNボタンに割り当てることができます(62ページ)。

1 FULL AUTOボタン[C]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 WHT BALボタン[B]を押す。


ホワイトバランス値が反転します。

3 マニュアルレバー[A]でPRESET/A/Bのいずれかを選択する。

■ A/Bの設定値

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するとき設定します。








■ PRESETの設定値

 (CAMERA SET)メニュー → [WB PRESET]でお好みの設定を選ぶ。

設定値	撮影状況例
 屋外 ([OUTDOOR])	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜景やネオン、花火などを撮るとき ● 日の出、日没などを撮るとき ● 昼光色蛍光灯の下
 屋内 ([INDOOR])	<ul style="list-style-type: none"> ● パーティー会場など照明条件が変化する場所 ● スタジオなどビデオライトの下 ● ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	<ul style="list-style-type: none"> ●  (CAMERA SET)メニュー → [WB TEMP SET]で、2300K～15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の設定は6500K)。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには



- ① FULL AUTO ボタン[C]を押して、オートモードをオフにする。
- ② WHT BAL ボタン[B]を押してホワイトバランス値を反転表示させる。

- ③ マニュアルレバーでA()またはB()を選ぶ。
- ④ MENU ボタンを押す。
- ⑤ //SET ボタンで (CAMERA SET)メニュー→[WB SET]を選択する。
- ⑥ 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- ⑦ SET ボタンを押す。
 A または  B に調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。

🔦 ちよっと一言

- ASSIGN1/WB SETボタンに[WB SET]が割り当てられています。④～⑦の代わりに撮影画面でASSIGN1/WB SETボタンを押すと調整値が記憶されます。

🔦 ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、 Aまたは Bが遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60(1/50)付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。

自動調整に戻すには

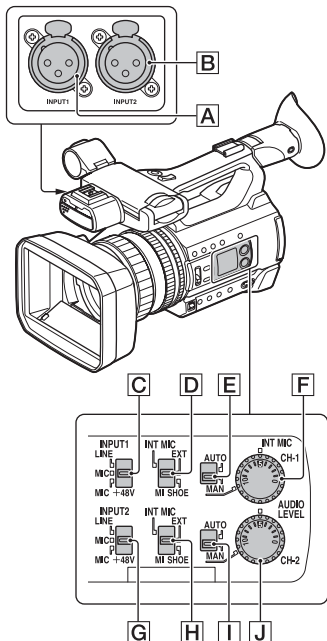
WHT BALボタン[B]を押す。

🔦 ご注意

- FULL AUTOボタン[C]をオンにすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

音の設定をする

下図の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。
マイクの接続については9ページをご覧ください。



外部音声の入力と選択

- A**: INPUT1端子
- B**: INPUT2端子
- C**: INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ
- G**: INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ

音源の選択

- D**: CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ
- H**: CH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ

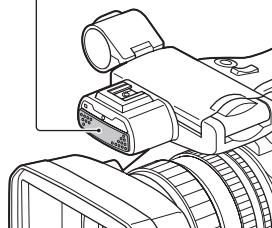
録音レベルの選択

- E**: AUTO/MAN(CH-1)スイッチ
- I**: AUTO/MAN(CH-2)スイッチ
- F**: AUDIO LEVEL(CH-1)ダイヤル
- J**: AUDIO LEVEL(CH-2)ダイヤル

内蔵マイクで収録する

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。

内蔵マイク



- 1** CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ**D**とCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ**H**を「INT MIC」にする。

🗣️ちよつと言

- 音が小さいときは、[INT MIC SENS]を[HIGH]にしてください。
- 風切り音を低減するには、[INT MIC WIND]を[ON]にしてください。
- CH-1/CH-2ともに内蔵マイクを選択した場合(CH-1:INT MIC、CH-2:INT MIC)、記録中およびスタンバイ中にヘッドホンから出力される音は、実際に記録される音よりもステレオ感が弱くなります。

外部音声機器などで収録する

マイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

- INPUT1端子[A]/INPUT2端子[B]に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ[C]または[G]を設定します。
- マイクで収録する場合は、「MIC」または「MIC+48V」を選択します。マイクの接続については9ページをご覧ください。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

⚠️ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
- 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ[C]または[G]を「LINE」にしてください。

2 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]とCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「EXT」にする。

- [XLR SET]の[INPUT CH SELECT]メニューが[INPUT1/INPUT2]に設定されている場合は、INPUT1/INPUT2端子の音声それぞれCH-1/CH-2に記録されます。

- [XLR SET]の[INPUT CH SELECT]メニューが[INPUT1/INPUT1]に設定されている場合は、INPUT1端子の音声CH-1/CH-2の両方に記録されます。

メニューの[XLR SET]の[INPUT CH SELECT]の設定	CH-1、CH-2に録音される音声設定
INPUT1/ INPUT2	INPUT1 → CH1 INPUT2 → CH2
INPUT1/ INPUT1	INPUT1 → CH1 → CH2

3 外部音声機器の入力レベルを設定する。

INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ[C]または[G]が「MIC」か「MIC+48V」のときは、メニューの[INPUT1 TRIM]/[INPUT2 TRIM](106ページ)でXLRマイクの入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。

💡ちよつと一言

- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT1端子[A]にL(左)チャンネル、INPUT2端子[B]にR(右)チャンネルを接続しCH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]とCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「EXT」に設定してください。

マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)で収録する


マルチインターフェースシュー対応マイクで、ステレオ音声を収録できます。

1 マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)をマルチインターフェースシュー端子につなぐ。

-
- 2 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]およびCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「MI SHOE」にする。
-

好みの録音レベルに設定する

CH-1/CH-2スイッチ両方を「INT MIC」に設定した場合、CH-1スイッチ/ダイヤルに左右のチャンネルが連動します。

- 1 調節するチャンネル(CH-1またはCH-2)のAUTO/MANスイッチ[E]または[I]を「MAN」にする。
画面に  [M] が表示されます。
-




- 2 (CH-1またはCH-2)のAUDIO LEVELダイヤル[F]または[J]を回して、録音レベルを調節する。

適正なレベルになっているか、ヘッドホンやオーディオレベルメーターで確認してください。

自動調整に戻すには

手動調節したチャンネル(CH-1またはCH-2)のAUTO/MANスイッチ[E]または[I]を「AUTO」にする。

ヘッドホンの音声を設定する

-
- 1 MENUボタンを押す。
 - 2  /  / SET ボタンで、
 (AUDIO SET)メニュー → [HEADPHONE OUT]を選ぶ。
-

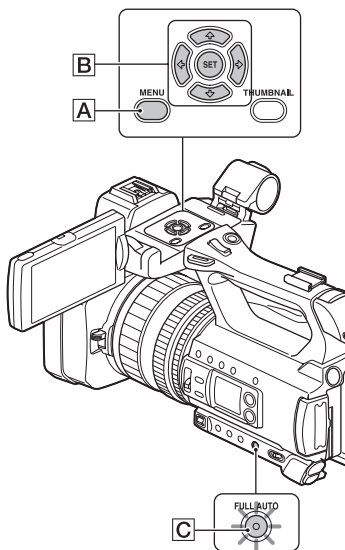
- 3 以下のいずれかを選択する。

[HEADPHONE OUT]の設定	ヘッドホンに出力される音声
STEREO	CH-1がL(左)、CH-2がR(右)に出力される。
MIX MONO	CH-1とCH-2のミックスがL(左)とR(右)に出力される(モノラル)。
CH1	CH-1がL(左)とR(右)に出力される。
CH2	CH-2がL(左)とR(右)に出力される。

便利な機能を使う

状況に合わせて撮る(オートモード設定)

撮影するシーンに合わせて最適な設定で撮影できます。



- 1 FULL AUTOボタン[C]を押して、オートモードをオンにする。**
FULL AUTOボタンのランプ(緑)が点灯します。
- 2 MENUボタン[A]を押す。**
- 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]で、CAMERA SET)メニュー → [AUTO MODE SET]を選ぶ。**

- 4 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して [AUTO]、[INTELLIGENT AUTO]、[SCENE SELECTION] のいずれかを選び、押し決定する。**

❖ご注意

- [INTELLIGENT AUTO]を選択しているときは、手ブレ補正が[ACTIVE]に設定されるため、画角が1.08倍テレシフトします。
- XAVC QFHDでは、[INTELLIGENT AUTO]と[SCENE SELECTION]は使用できません。

[INTELLIGENT AUTO]で認識されるシーン

顔: (人物)、 (赤ちゃん)

シーン: (逆光)、 (風景)、 (夜景)、 (スポットライト)、 (低照度)、 (マクロ)

手ブレ: (歩き)、 (三脚)

[SCENE SELECTION]を設定するには

- ① MENUボタン[A]を押して、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して、CAMERA SET)メニュー → [SCENE SELECTION SET]を選び、押し決定する。
- ② $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して希望の設定を選び、押し決定する。

設定値	撮影状況
夜景* ([NIGHT SCENE])	三脚(別売)を使用して、夜景に最適な露出で撮影できる。
日の出&夕焼け* ([SUNRISE & SUNSET])	朝焼けや夕焼けの風景を色鮮やかに撮影する。
打ち上げ花火* ([FIREWORK S])	打ち上げ花火に最適な露出で撮影する。

便利な機能を使う(つづき)

設定値	撮影状況
 風景* ([LANDSCAP E])	遠景ではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。
 ポートレート ([PORTRAIT])	背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。
 スポットライト ([SPOTLIGH T])	スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうを防ぐ。
 ビーチ ([BEACH])	海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

薄暗い場所で撮る (LOW LUX)

街灯の少ない屋外、薄暗い屋内などの低照度の場所でも、ゲインとシャッタースピードを自動的に最適化にすることにより、鮮やかな映像を撮影することができます。

📌 ご注意


FULL AUTOがオンおよび[AUTO MODE SET]が[AUTO]のときのみ使用可能です。

1 FULL AUTOボタンを押して、オートモードをオンにする。

FULL AUTOボタンのランプ(緑)が点灯します。

2 ASSIGNボタンに[LOW LUX]を割り当てる。(62ページ)

3 ASSIGNボタンを押す。

-  が表示されます。
- 解除するには、ASSIGNボタンをもう一度押します。

暗い場所で撮る (NIGHTSHOT)

真っ暗な場所でも撮影できます。

📌 ご注意


FULL AUTOがオンのときのみ使用可能です。

1 FULL AUTOボタンを押して、オートモードをオンにする。

FULL AUTOボタンのランプ(緑)が点灯します。

2 ASSIGNボタンに[NIGHTSHOT]を割り当てる。(62ページ)

3 ASSIGNボタンを押す。

-  が表示されます。
- 解除するには、ASSIGNボタンをもう一度押します。

📌 ご注意

- NIGHTSHOTは赤外線を利用するため、NIGHTSHOT発光部(10ページ)を指などで覆わないでください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)

[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ⓘ ご注意

- お買い上げ時の設定は[PP4]になっています。

ピクチャープロファイル番号	設定例
PP1	[STANDARD]ガンマを用いた設定例
PP2	[STILL]ガンマを用いた設定例
PP3	[ITU709]ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	[ITU709]規格に忠実な色合いの設定例
PP5	一般的な映画用カラーネガフィルムによる撮影画のような設定例
PP6	一般的な映画用カラープリントフィルムで上映したような設定例

1 MENUボタンを押す。

2 /SETボタンで

- (CAMERA SET)メニュー
- [PICTURE PROFILE] → 希望のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。


3 /SET ボタンを押して [OK]を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

ⓘ ちょっと一言







[PICTURE PROFILE]を割り当てたASSIGNボタンを押して実行することもできます。

ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、/SET ボタンを押して決定します。

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できません。

- 手順3で /SET ボタンを押して [SETTING]を選び、押して決定する。
- /SET ボタンを押して調節したい項目を選び、押して決定する。
- /SET ボタンを押して画質を調節し、押して決定する。
- 手順②、③を繰り返して他の項目を調節する。
- /SET ボタンを押して [ RETURN]を選び、押して決定する。
- /SET ボタンを押して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

便利な機能を使う(つづき)

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
	黒レベルを設定する。 -15~+15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準ガンマカーブ
[STILL]	静止画撮影したようなトーンのガンマカーブ
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5

📌ご注意

- 本機には静止画撮影モードはありません。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大)~+7(ブラックストレッチ最大)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白とびを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[GAMMA]で[STANDARD][STILL]を選択しているときは、[MODE]を[AUTO]にしていると[KNEE]は無効になります。[MODE]を[MANUAL]にすると[KNEE]の機能を使用できます。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動／手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90%~100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH / MIDDLE / LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75%~105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい)~+5(傾きが大きい) +5に設定すると、[KNEE]は無効になります。

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	[GAMMA]が[STANDARD]のときに適した色合い。
[STILL]	[GAMMA]が[STILL]のときに適した色合い。
[CINEMATONE1]	[GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。
[CINEMATONE2]	[GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。
[PRO]	[GAMMA]が[ITU709]のときに自然な色合い。
[ITU709 MATRIX]	ITU-709規格に忠実な色合い(ITU-709ガンマと組み合わせた場合)。
[B/W]	彩度を0にし、白黒で撮影する。

便利な機能を使う(つづき)

SATURATION

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-32(薄くなる)～+32(濃くなる)

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)～+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)～+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)～+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)～+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)～+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)～+7(黄が深くなる)

COLOR CORRECTION

色補正を設定する。

設定項目	調節する内容
TYPE	カラーコレクションタイプを選ぶ。 [OFF]: カラーコレクションを行わない。 [COLOR REVISION]: メモリーに設定されている色を補正する。 メモリー以外の色([COLOR EXTRACT]の設定で白黒で表示される部分)は補正されません。 [COLOR EXTRACT]: メモリー設定されている色のみカラーで表示する。 他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
MEMORY SELECTION	有効にするメモリーを選ぶ。 [1]: メモリー1の設定のみ有効にする。 [2]: メモリー2の設定のみ有効にする。 [1&2]: メモリー1、2ともに有効にする。

設定項目	調節する内容
MEMORY1 COLOR	<p>メモリー1の色を設定する。 [PHASE]:色相を選ぶ。 0(紫)～8(赤)～16(黄)～24(緑)～31(青) [PHASE RANGE]:色相の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)～31(広い:色相の近い他の色も選ぶ) [SATURATION]:彩度を選ぶ。 0(薄い色から濃い色まで選ぶ)～31(濃い色のみ選ぶ) [ONE PUSH SET]:センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて[PHASE]を自動選択する。[SATURATION]は0にリセットされる。</p>
MEMORY1 REVISION	<p>メモリー1の色を補正する。 [PHASE]:メモリー1で選択した色の色相を補正する。 -15～+15(0の場合、補正されません。) [SATURATION]:メモリー1で選択した色の彩度を補正する。 -15～+15(0の場合、補正されません。)</p>
MEMORY2 COLOR	<p>メモリー2の色を設定する。 設定項目や設定内容については、[MEMORY1 COLOR]を参照してください。</p>
MEMORY2 REVISION	<p>メモリー2の色を補正する。 設定項目や設定内容については、[MEMORY1 REVISION]を参照してください。</p>

💡ちよっと一言

- 2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。
- [COLOR CORRECTION]の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。
- ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの[WB SHIFT]、[SATURATION]、[COLOR PHASE]の設定を変更すると、色設定や補正される色合いが変化します。[COLOR CORRECTION]の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、[COLOR CORRECTION]の設定を見直してください。
- ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

便利な機能を使う(つづき)

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。
フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC]: フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB [COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかる)~+9(赤みがかる)
[CC [MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかる)~+9(マゼンタがかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)~+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)~+9(Bのレベルが上がる)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7~+7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON]にすると、[DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われない)
	[V/H BALANCE] : 垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い)~+2(水平(H)が強い)
	[B/W BALANCE] : 下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い)~TYPE5(上側(W)が強い)
	[LIMIT] : DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい))~7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
	[CRISPENING] : クリस्पニングレベルを設定する。 0(クリस्पニングレベルが浅い)~7(クリस्पニングレベルが深い)
	[HI-LIGHT DETAIL] : 高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 0~4


COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET


ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- MENU ボタンを押す。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンで  (CAMERA SET) メニュー → [PICTURE PROFILE] → 希望のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して [YES] → [↵ RETURN] → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

- MENU ボタンを押す。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンで  (CAMERA SET) メニュー → [PICTURE PROFILE] → 希望のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [↵ RETURN] → [OK] を選ぶ。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードを設定する

- MENU ボタンを押し、▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して **00:00** (TC/UB SET) メニュー → [TC PRESET] を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して最初の 2 桁の数値を選び、押して決定する。タイムコードは以下の範囲で設定します。
[60i] 選択時
00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
• 24p 設定時は、末尾 2 桁を 0~23 のうちの 4 の倍数のフレームで設定できます。
[50i] 選択時
00:00:00:00 ~ 23:59:59:24
- 手順 ③ と同様に、他の桁を設定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して [OK] を選ぶ、押して決定する。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で [RESET] を選び、タイムコードをリセット (00:00:00:00) します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンの TC RESET ボタンを押しても、タイムコードをリセット (00:00:00:00) できません。

ユーザービットを設定する

- MENU ボタンを押し、▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して **00:00** (TC/UB SET) メニュー → [UB PRESET] を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ▲/▼/◀/▶/SET ボタンを押して最初の 2 桁の数値を選び、押して決定する。
- 手順 ③ と同様に、他の桁を設定する。

便利な機能を使う(つづき)

- ⑤ **↔/↔/↔/SET** ボタンを押して[OK]を選び、押して決定する。

ユーザービットをリセットするには「ユーザービットを設定する」の手順②で[RESET]を選び、ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

HFR(ハイレームレート)でスローモーション撮影する

XAVC HDのとき、ハイレームレートでのスローモーション撮影が可能です。

再生速度

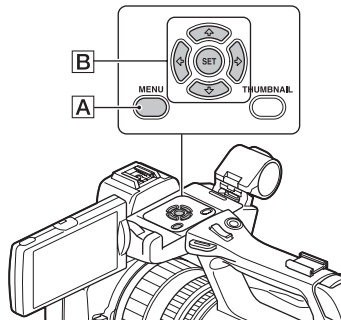
録画フォーマットによって、再生速度は以下ようになります。

[60i]選択時

FRAME RATE	1080/24p	1080/30p	1080/60p
120	20% スロー	25% スロー	50% スロー

[50i]選択時

FRAME RATE	1080/25p	1080/50p
100	25%スロー	50%スロー



撮影前の設定

- MENU ボタン **A** を押す。
- ↔/↔/↔/SET** ボタン **B** で **📷** (CAMERA SET)メニュー → [S&Q MOTION] → [HIGH FRAME RATE] → ON を選ぶ。
- [REC FORMAT] を選ぶ。
- 録画フォーマットを設定する。

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps
1080/30p 25Mbps	1080/25p 25Mbps
1080/24p 25Mbps	—

フレームレートは下記に固定されます。

[60i]選択時: 120

[50i]選択時: 100

撮影のしかたについては、「スロー&クイックモーション撮影する」(58ページ)をご覧ください。

スロー&クイックモーション撮影する

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常の速度で撮影した映像を低速再生、高速再生する場合よりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下ようになります。

XAVC HD/AVCHDの場合

[60i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
60	40% スロー	50% スロー	100% (標準)
30	80% スロー	100% (標準)	200% クイック
15	160% クイック	200% クイック	400% クイック
8	300% クイック	375% クイック	750% クイック
4	600% クイック	750% クイック	1500% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック	3000% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック	6000% クイック

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/25p	1080/50p
50	50% スロー	100% (標準)
25	100% (標準)	200% クイック
12	208% クイック	417% クイック
6	417% クイック	833% クイック
3	833% クイック	1667% クイック
2	1250% クイック	2500% クイック
1	2500% クイック	5000% クイック

MPEG HD 422/MPEG HD 420の場合

[60i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/24p	1080/30p
30	80% スロー	100% (標準)
15	160% クイック	200% クイック
8	300% クイック	375% クイック

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/24p	1080/30p
4	600% クイック	750% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック

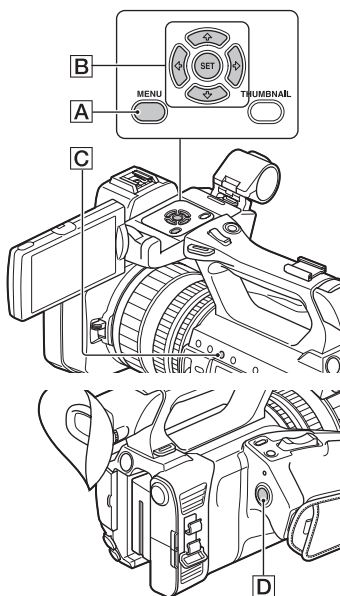
[50i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT
	1080/25p
25	100% (標準)
12	208%クイック
6	417%クイック
3	833%クイック
2	1250%クイック
1	2500%クイック

●ご注意

- XAVC QFHDでは、スロー&クイックモーション撮影はできません。
- スロー&クイックモーションが撮影可能なメディアについては、28ページをご覧ください。
- クイックモーション撮影は、記録が停止しない場合があります(設定により、最大30秒程記録を継続します)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

便利な機能を使う(つづき)



撮影前の設定

録画フォーマットとフレームレートを設定します。

- ① MENU ボタン **A** を押す。
- ② **▲/▼/◀/▶/SET** ボタン **B** で **📷 (CAMERA SET)** メニュー → **[S&Q MOTION]** → **[REC FORMAT]** を選ぶ。
- ③ 録画フォーマットを設定する。

XAVC HDの場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps
1080/60p 35Mbps	1080/50p 35Mbps
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
1080/30p 35Mbps	1080/25p 35Mbps
1080/24p 50Mbps	—

60i	50i
1080/24p 35Mbps	—

MPEG HD 422の場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
1080/24p 50Mbps	—

MPEG HD 420の場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/30p HQ	1080/25p HQ
1080/24p HQ	—

AVCHDの場合

(太字は初期設定)

60i	50i
1080/60p PS	1080/50p PS
1080/30p FX	1080/25p FX
1080/30p FH	1080/25p FH
1080/24p FX	—
1080/24p FH	—

- ④ **▲/▼/◀/▶/SET** ボタン **B** で **[FRAME RATE]** を選び、フレームレートを設定する。


(太字は初期設定)

60i	50i
60fps*	50fps*
30fps	25fps
15fps	12fps
8fps	6fps
4fps	3fps
2fps	2fps
1fps	1fps

* MPEG HD 422/MPEG HD 420では60fps、50fpsは選択できません。

⑤ [↩ RETURN] を選ぶ。

スロー&クイックモーションモードで撮影する

① ▲/▼/◀/▶/SET ボタン **[B]** で  (CAMERA SET) メニュー → [S&Q MOTION] → [EXECUTE] を選ぶか、ASSIGN3/S&Q ボタン **[C]** を押す。

② START/STOP ボタン **[D]** を押す。
スロー&クイックモーションモードでの記録が始まります。

スロー&クイックモーション記録を停止するには

START/STOP ボタン **[D]** を押す。

フレームレートの設定を変更するには
ASSIGN ボタンを約1秒間長押しして、▲/▼/◀/▶/SET ボタン **[B]** で設定値を変更する。

ASSIGN ボタンをもう一度約1秒間長押しすると元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、ASSIGN ボタンまたは MENU ボタン **[A]** を押す。

⚠ ご注意

- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、START/STOP ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードは [REC RUN] で記録されます (111 ページ)。
- 本機の電源を切った場合も、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- スロー&クイックモーション撮影中は、音声の記録はできません。
- メモリーカードAとメモリーカードBへの同時記録はできません。

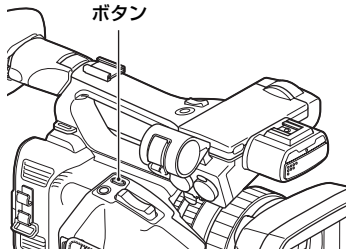
- FULL AUTO がオンの場合、スロー&クイックモーション撮影はできません。

最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認できます。

ASSIGN4/LAST SCENE ボタンに [LAST SCENE REVIEW] が割り当てられています (62 ページ)。

ASSIGN4/LAST SCENE ボタン



録画を停止したら、ASSIGN4/LAST SCENE ボタンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中に ASSIGN4/LAST SCENE ボタンを押すと中断し、スタンバイに戻ります。

⚠ ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行できない場合があります。

ASSIGN ボタンに機能を割り当てる

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。

ASSIGN1~6ボタンに1つずつ割り当てられます。

各機能については、「メニュー一覧」(99ページ)をご覧ください。

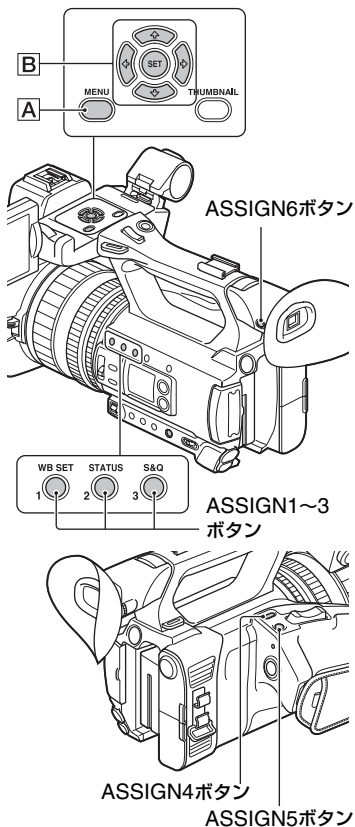
お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1: WB SET(45ページ)
- ASSIGN2: STATUS CHECK(69ページ)
- ASSIGN3: S&Q MOTION(58ページ)
- ASSIGN4: LAST SCENE REVIEW(61ページ)
- ASSIGN5: FOCUS MAGNIFIER(35ページ)
- ASSIGN6: VF/LCD PANEL(110ページ)

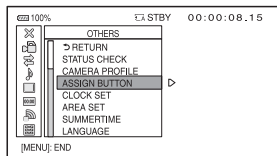
- ZEBRA(107ページ)
- PEAKING(107ページ)
- MARKER(108ページ)
- CAMERA DATA DISPLAY(109ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY(109ページ)
- DATA CODE(109ページ)
- VF/LCD PANEL(110ページ)
- TC/UB DISPLAY(110ページ)
- SMARTPHONE CONNECT(78ページ)
- STREAMING(87ページ)
- STREAM OPERATION(88ページ)
- FTP TRANSFER(90ページ)
- STATUS CHECK(69ページ)
- REC LAMP(115ページ)
- THUMBNAIL(64ページ)

割り当てられる機能

- (機能なし)
- LOW LUX(50ページ)
- FOCUS MAGNIFIER(35ページ)
- LAST SCENE REVIEW(61ページ)
- WHT BAL(44ページ)
- WB PRESET(99ページ)
- WB SET(45ページ)
- AE SHIFT(99ページ)
- D.EXTENDER(99ページ)
- STEADYSHOT(100ページ)
- S&Q MOTION(58ページ)
- AUTO MODE SET(49ページ)
- SCENE SELECTION SET(49ページ)
- NIGHTSHOT(50ページ)
- IRIS PUSH AUTO(42ページ)
- FACE DETECTION(36ページ)
- COLOR BAR(102ページ)
- MENU(98ページ)
- PICTURE PROFILE(51ページ)
- VOLUME(104ページ)
- HISTOGRAM(107ページ)



- 2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]で
 \square (OTHERS)メニュー \rightarrow
 [ASSIGN BUTTON]を選ぶ。



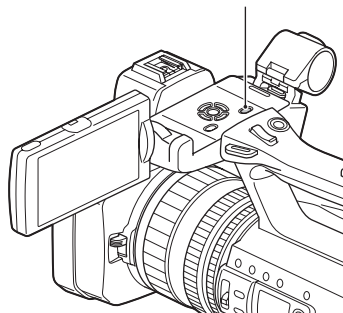
- 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して
 設定したいASSIGNボタンを選
 び、押して決定する。
- 4 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して
 割り当てる機能を選び、押して決
 定する。
- 5 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して
 [OK]を選び、押して決定する。

- 1 MENUボタン[A]を押す。

再生する

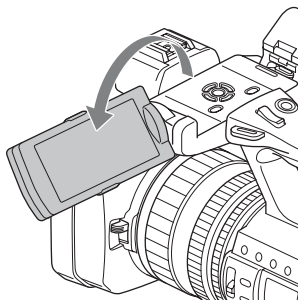
本機で再生する

THUMBNAILボタン



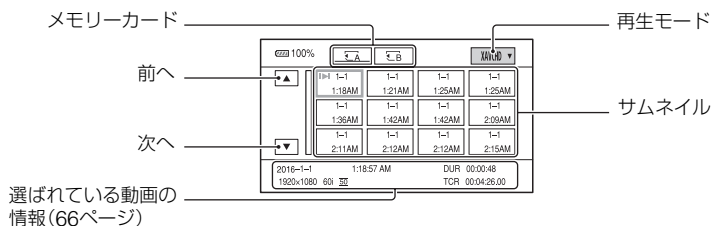
再生する

- 1 液晶モニターを開く。



2 THUMBNAILボタンを押す。

数秒後にTHUMBNAIL画面が表示されます。

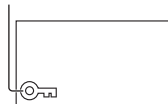


- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。
- サムネイルにアイコンが表示されている場合もあります。

プロキシ記録(40ページ)のアイコン

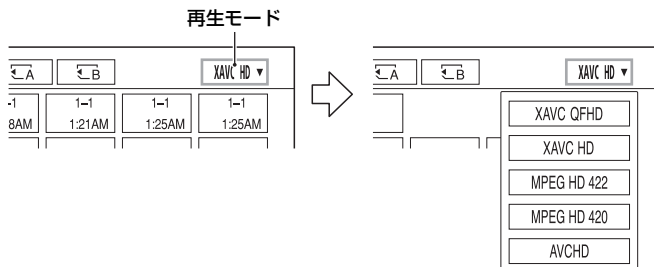


プロテクト(94ページ)のアイコン



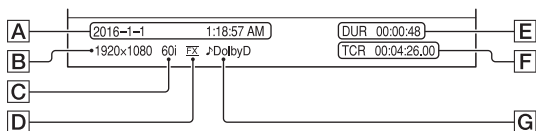
3 再生する。

- ① $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンで再生したいメモリーカードを選択して、SET ボタンを押す。
 \blacktriangleleft A :メモリーカード A
 \blacktriangleleft B :メモリーカード B
- ② $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンで再生モードを選択する。



本機で再生する(つづき)

- ③ ◀/▶/◀▶ ボタンで再生したいサムネイルを選択して、SET ボタンを押す。
サムネイルを選択すると画面の下部に動画の情報が表示されます。



A 撮影開始日時

B 動画の解像度

C フレームレート

D 録画モード

E 記録時間

F 記録開始タイムコード

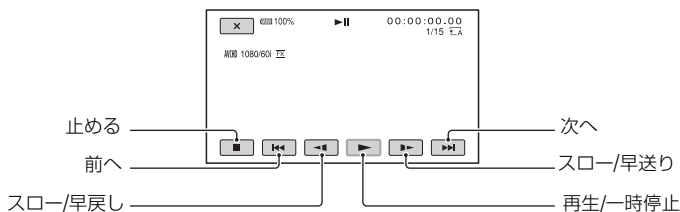
タイムコードが記録されていないメモリーカードや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

G DOLBY DIGITAL 記録

音声ドルビーデジタル方式で記録されている場合に表示されます。

- 最後に再生・撮影した動画に▶▶が表示されます。選択すると前回の続きから再生されます。

再生が始まります。



💡ちよつと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、THUMBNAIL画面に戻ります。
- 一時停止中に◀▶を選択すると、スロー再生が始まります。
- 再生中、◀▶を選択する回数によって、より高倍速に再生されます。

音量を調節するには

MENUボタンを押して、🎵 (AUDIO SET)メニュー → [VOLUME]で調節する。

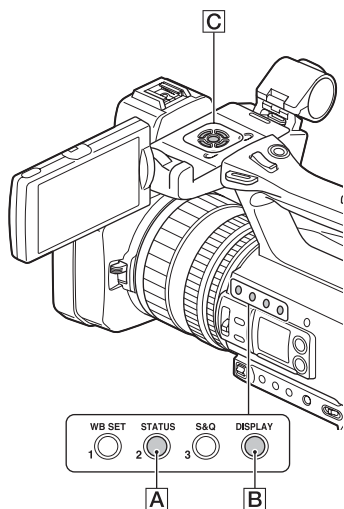
撮影モードに戻すには

THUMBNAILボタンを押す。

再生に際しての注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン[B]を押す。

押すたびに、非表示 ↔ 表示と切り換わります。撮影モードのときは、詳細表示 → 簡易表示 → 非表示の順に切り換わります。

👁️ちよっと一言

- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(110ページ)。

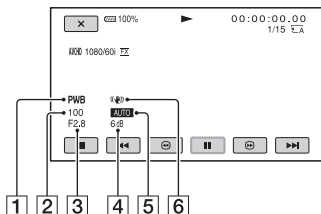
再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

■ (DISPLAY SET)メニュー

→ DATA CODEで表示したいデータを選ぶか、再生または一時停止中にDATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押す。

押すたびに、日付時刻表示 → カメラデータ → 表示なしの順に切り換わります。



- 1 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。
- 2 シャッタースピード
- 3 アイリス
- 4 ゲイン
- 5 明るさ調節
アイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動調整で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。
- 6 手ブレ補正

📌ご注意

- XAVC QFHD、XAVC HD、MPEG HDではデータコードを記録できません。

- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

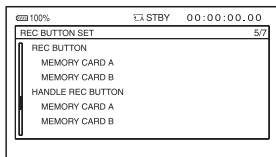
本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- 音声に関する設定(104ページ)
- 出力に関する設定(103ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(62ページ)
- カメラに関する設定(99ページ)
- 録画ボタン設定(33ページ)
- メモリーカード情報
- バッテリーインフォ

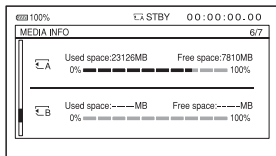
●録画ボタン設定

録画ボタンの設定を確認できます。



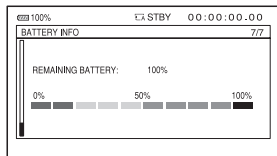
●メモリーカード情報

使用領域と空き領域の目安を確認できます。



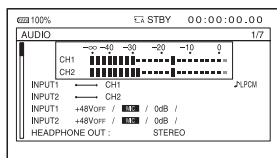
●バッテリーインフォ

装着しているバッテリー残量を確認できます。



ASSIGN2/STATUSボタン[A]に[STATUS CHECK]が割り当てられています(62ページ)。

1 ASSIGN2/STATUSボタン[A]を押す。



2 +/-/←/→/SET ボタン[C]を押して、項目を表示する。

AUDIO → OUTPUT → ASSIGN → CAMERA → REC BUTTON SET → MEDIA INFO → BATTERY INFOの順に切り換わります。

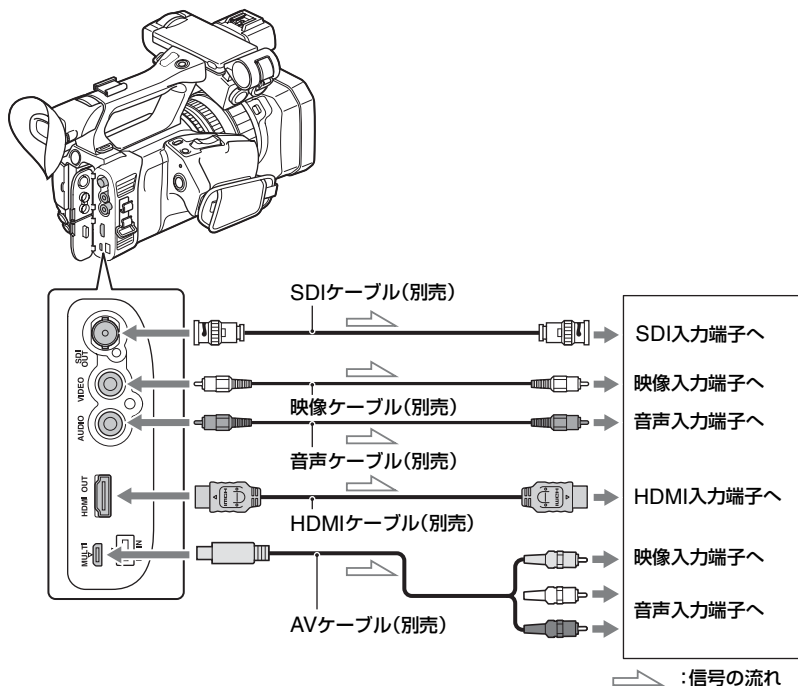
起動時の条件によって、表示されないものもあります。

情報表示を消すには

ASSIGN2/STATUSボタン[A]を押す。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。



ⓘ注意

- ビデオ信号は、上記の各端子から同時に出力できません。
- VIDEO OUTの出力解像度は60iのとき480i、50iのとき576iになります。

🗨️ちょっと一言

- マルチ/マイクロUSB端子には、VIDEO OUTとAUDIO OUTが一体化されています。モニター/テレビの映像端子や音声端子への接続にはAVケーブル(別売)が必要です。VMC-15MR2を推奨します。

外部出力用の端子を選ぶ

1 MENUボタンを押す。

2 / / / SET ボタンで、 (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [OUTPUT SELECT] → [OUTPUT SELECT] → 希望の出力先を選択する。

ご注意

- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI OUT端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因になります。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はブラビアリンクに対応していません。

出力信号のフォーマットについて

SDI OUT、HDMI OUT、マルチ/マイクロUSBの各端子から出力される信号のフォーマットは、下表のようになります。

SDI OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット([60i]選択時)

XAVC QFHD

—: 設定値に依存しない

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	REC/OUT SET>	出力される信号のフォーマット	出力される信号のフォーマット
REC SET>	VIDEO OUT>	VIDEO OUT>		
REC FORMAT	SDI/HDMI	24p/30p		
2160/24p	2160p/1080p/480i	24p/30p *1	1080/24p	2160/24p
		24PsF/30PsF *1	1080/24psf	
		60p (Pull Down) *1	1080/60p	
	2160p/720p/480i	—	720/60p	
	2160p/1080i/480i		1080/60i	
	1080p/480i	24p/30p	1080/24p	記録時: 1080/24p 再生時: 1080/60p
		24PsF/30PsF	1080/24psf	
		60p (Pull Down)	1080/60p	
	720p/480i	—	720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
480p		出力なし	480/60p	
480i		480/60i	480/60i	

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p		
2160/30p	2160p/1080p/480i	24p/30p *1	1080/30p	2160/30p
		24PsF/30PsF *1	1080/30psf	
		60P (Pull Down) *1	1080/60p	
	2160p/720p/480i	—	720/60p	
	2160p/1080i/480i		1080/60i	
	1080p/480i	24p/30p *1	1080/30p	1080/60p
		24PsF/30PsF *1	1080/30psf	
		60p (Pull Down) *1	1080/60p	
	720p/480i	—	720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	480p		出力なし	480/60p
	480i		480/60i	480/60i

*1 HDMI OUTでは設定値に依存しない。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

XAVC HD/MPEG HD 422/MPEG HD 420/AVCHD

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目					
録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット	
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p			
1080/24p	2160p/1080p/480i	24p/30p	1080/24p	記録時: 1080/24p 再生時: 1080/60p	
		24PsF/30PsF	1080/24psf		
		60p (Pull Down)	1080/60p		1080/60p
	2160p/720p/480i	—	720/60p	720/60p	
	2160p/1080i/480i		1080/60i	1080/60i	
	1080p/480i	24p/30p	1080/24p	記録時: 1080/24p 再生時: 1080/60p	
		24PsF/30PsF	1080/24psf		
		60p (Pull Down)	1080/60p		1080/60p
	720p/480i	—	720/60p	720/60p	
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i	
	480p		出力なし	480/60p	
	480i		480/60i	480/60i	
	1080/30p	2160p/1080p/480i	24p/30p *1	1080/30p	1080/60p
			24PsF/30PsF *1	1080/30psf	
60p (Pull Down) *1			1080/60p		
2160p/720p/480i		—	720/60p	720/60p	
2160p/1080i/480i			1080/60i	1080/60i	
1080p/480i		24p/30p *1	1080/30p	1080/60p	
		24PsF/30PsF *1	1080/30psf		
		60p (Pull Down) *1	1080/60p		
720p/480i		—	720/60p	720/60p	
1080i/480i			1080/60i	1080/60i	
480p			出力なし	480/60p	
480i			480/60i	480/60i	

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	24p/30p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p/30p		
1080/60p	2160p/1080p/480i	—	1080/60p	1080/60p
720/60p	2160p/720p/480i		720/60p	720/60p
1080/60i	2160p/1080i/480i		1080/60i	1080/60i
1080/60i (1440)	1080p/480i		1080/60p	1080/60p
	720p/480i		720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	480p		出力なし	480/60p
	480i		480/60i	480/60i

*1 HDMI OUTでは設定値に依存しない。

マルチ/マイクロUSB端子の出力フォーマット([60i]選択時)

常に480/60iで出力されます。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

SDI OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット([50i]選択時)

XAVC QFHD

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	50p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 50p		
2160/25p	2160p/1080p/576i	25p *1 25PsF *1 50p (Pull Down) *1	1080/25p 1080/25psf 1080/50p	2160/25p
	2160p/720p/576i	—	720/50p	
	2160p/1080i/576i		1080/50i	
	1080p/576i	25p *1 25PsF *1 50p (Pull Down) *1	1080/25p 1080/25psf 1080/50p	1080/50p
	720p/576i	—	720/50p	720/50p
	1080i/576i		1080/50i	1080/50i
	576p		出力なし	576/50p
	576i		576/50i	576/50i

*1 HDMI OUTでは設定値に依存しない。

XAVC HD/MPEG HD 422/MPEG HD 420/AVCHD

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	50p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 50p		
1080/25p	2160p/1080p/576i	25p *1 25PsF *1 50p (Pull Down) *1	1080/25p 1080/25psf 1080/50p	1080/50p
	2160p/720p/576i	—	720/50p	720/50p
	2160p/1080i/576i		1080/50i	1080/50i
	1080p/576i	25p *1 25PsF *1 50p (Pull Down) *1	1080/25p 1080/25psf 1080/50p	1080/50p
	720p/576i	—	720/50p	720/50p
	1080i/576i		1080/50i	1080/50i
	576p		出力なし	576/50p
	576i		576/50i	576/50i
1080/50p 720/50p 1080/50i 1080/50i (1440)	2160p/1080p/576i 2160p/720p/576i 2160p/1080i/576i 1080p/576i 720p/576i 1080i/576i 576p 576i	— — — — — — — — —	1080/50p 720/50p 1080/50i 1080/50p 720/50p 1080/50i 出力なし 576/50i	1080/50p 720/50p 1080/50i 1080/50p 720/50p 1080/50i 576/50p 576/50i

*1 HDMI OUTでは設定値に依存しない。

マルチ/マイクロUSB端子の出力フォーマット([50i]選択時)

常に576/50iで出力されます。

スロー&クイックモーション時の出力について

スロー&クイックモーション(ハイフレームレート含む)時は、60pまたは60i([60i]選択時)、50pまたは50i([50i]選択時)で出力されます。

MPEG HD 422/420の場合、30p(25p)/30PsF(25PsF)設定時の出力は30p(25p)/30PsF(25PsF)となります。

ネットワーク機能を使う

スマートフォンと組み合わせて使う

本機のWi-Fi機能を使って、スマートフォンから本機を遠隔操作できます。



「Content Browser Mobile」をダウンロードする

スマートフォンを本機のリモコンとして使うには、「Content Browser Mobile」をお使いのスマートフォンにインストールしてください。インストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Android OSの場合

Google playから、Content Browser Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチをご使用の場合は、Android 4.1以上が必要です。
- Google playは、国や地域によって対応していないことがあります。その場合、「Content Browser Mobile」で検索してインストールしてください。

iOSの場合

App Storeから、Content Browser Mobileを検索してインストールしてください。



iOS 7.0以上が必要です。

- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。


❗ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

スマートフォンを本機のリモコンとして使う

本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して、撮影ができます。

1 MENUボタンを押す。

- 2 **⇄/⇄/⇄/SET** ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [CTRL W/SMARTPHONE] を選ぶ。

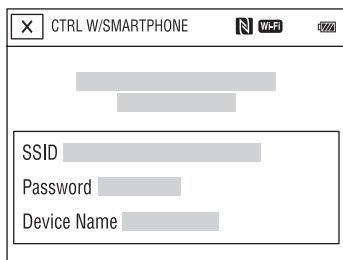
3 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機に接続する。

接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。

NFC機能搭載Androidの場合：79ページ

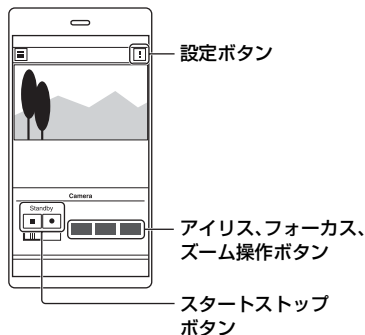
Androidの場合：80ページ

iPhoneまたはiPadの場合：81ページ



4 スマートフォンにインストールした「Content Browser Mobile」で本機を操作する。

「Content Browser Mobile」起動後の操作については、「Content Browser Mobile」のHelpをご覧ください。



⚠️ ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- 撮影した動画はスマートフォンには保存できません。
- 使用上の制約については、「記録時の機能制限について」(131ページ)をご覧ください。

💡 ちよつと一言

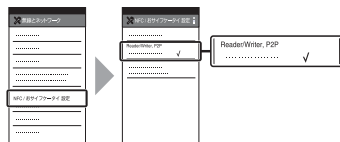
- ASSIGNボタンに[SMARTPHONE CONNECT]を割り当てることができます。撮影画面で割り当てたASSIGNボタンを押すと、[CTRL W/SMARTPHONE]を起動することができます(62ページ)。

【CTRL W/SMARTPHONE】でできる機能

- 録画スタート/ストップ
 - タッチフォーカス
 - フォーカスが手動のときに可能です。
 - ズーム
 - アイリスの調整
- ⚠️ ご注意
- タッチフォーカスを行っているときは、他の操作はできません。

NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタッチ接続する

- 1 スマートフォンの「設定」を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer, P2P]にチェックを入れる。



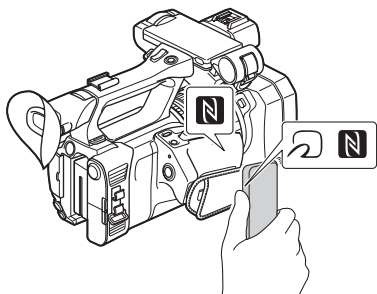
- 2 本機を撮影画面にする。

画面に **N** が表示されているときのみ NFC機能を使用できます。

3 本機とスマートフォンをタッチする。

スマートフォンが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。

本機は[CTRL W/SMARTPHONE]が起動します。

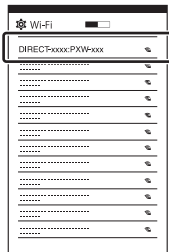


💡ちょっと一言

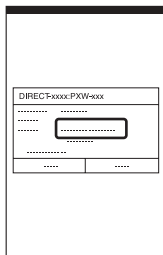
- 一部の🔄が付いているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- スマートフォンで「Content Browser Mobile」が起動するまで(1~2秒)動かさずにタッチし続けてください。
- [CTRL W/SMARTPHONE]を起動している間は、本機のSTART/STOPボタンまたはハンドル録画ボタン以外のボタン操作は無効です。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは接続できません。[AIRPLANE MODE]を[OFF]にしてください(112ページ)。

NFCを使わずに接続する(Android)

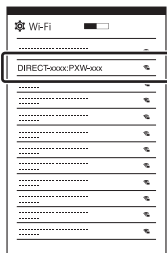
- 1 スマートフォンの[設定]を起動し、[Wi-Fi]を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。



- 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



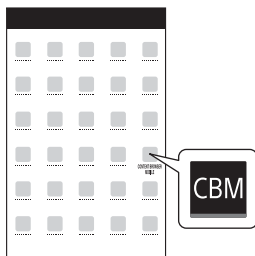
3 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。



💡ちよつと一言

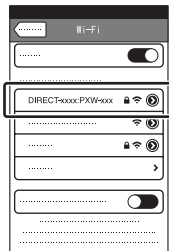
- 2回目以降は、接続メニューのデバイス一覧から接続機器を選んで、[接続]で接続できます。

4 ホームに戻り、「Content Browser Mobile」を起動する。

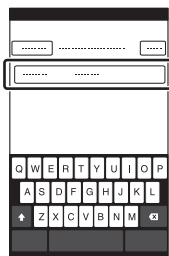


NFCを使わずに接続する (iPhoneまたはiPad)

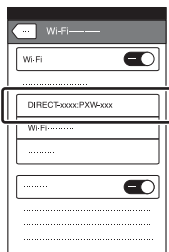
1 iPhoneまたはiPadの[設定]を起動し、[Wi-Fi]を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。



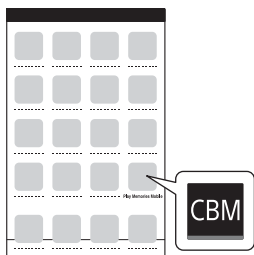
2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



- 3** 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。



- 4** ホームに戻り、「Content Browser Mobile」を起動する。



無線LANで本機をネットワークに接続します。

アクセスポイントを選んで登録する

本機とアクセスポイントを無線LANで接続します。

- 1** MENUボタンを押す。

- 2** ↑/↓/←/→/SET ボタンで、
📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

- 3** 登録したいアクセスポイントを選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示されない場合は、[Manual setting]を選んで手動で設定します(84ページ)。

- 4** パスワードを入力し、[Next]を選ぶ。

🔒 が付いていないアクセスポイントは、パスワードの入力は不要です。

- 5** アクセスポイントの詳細を設定する。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。

[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

Priority Connection

優先的に接続するアクセスポイントを設定するかどうかを選びます。

🗣️ ちょっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

6 [Register]を選ぶ。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。

7 [OK] → [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

WPS機能を使ってアクセスポイントを登録する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で登録することができます。

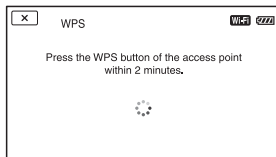
1 アクセスポイントの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 ↑/↓/←/→/SET ボタンで、 📶 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [WPS]を選ぶ。

- しばらくすると以下の画面が表示されます。



5 アクセスポイントのWPSボタンを2分以内に押す。

- WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。
- アクセスポイントに接続できない場合は、画面にメッセージが表示されます。[OK]を選んで、手順4の[WPS]を選択する操作からやり直してください。

6 [OK] → [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

無線LANの設定をする(つづき)

📌ご注意

- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。また、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなくなったり通信可能な距離が短くなったりすることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイントの距離を近づけてください。

WPS PIN方式を使ってアクセスポイントを登録する

アクセスポイントのPINコードを入力してアクセスポイントを登録します。

1 MENUボタンを押す。

2 /▼/◀/▶/SET ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 [Manual setting] → [WPS PIN]を選ぶ。

🗨ちょっと一言

- 本機に登録済みのアクセスポイント数が10個ある場合、アクセスポイントを登録できないメッセージが表示されます。[Delete]を選んでから、表示される画面で不要なアクセスポイントを選んで削除してください。

4 2分以内に、本機の画面に表示されるPINコードを接続するアクセスポイントに入力する。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。

5 OK → Xを選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

📌ご注意

- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。また、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなくなったり通信可能な距離が短くなったりすることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイントの距離を近づけてください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 MENUボタンを押す。

2 /▼/◀/▶/SET ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 [Manual setting] → [Manual regist.]を選ぶ。

🔔ご注意

- 本機に登録済みのアクセスポイント数が10個ある場合は、アクセスポイントが登録できないメッセージが表示されます。[Delete]を選んでから、表示される画面で不要なアクセスポイントを選んで削除してください。

4 表示される画面でSSIDを入力し、[Next]を選ぶ。

5 セキュリティ方式を選ぶ。

[WEP]か[WPA]を選んだ場合は、表示される画面でパスワードを入力し、[Next]を選びます。

6 アクセスポイントの詳細設定をする。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。
[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

Priority Connection

優先的に接続するアクセスポイントを設定するかどうかを選びます。

🔔ちょっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

7 [Register]を選ぶ。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDも一緒に表示されます。

8 [OK] → [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

機器名称を変更する

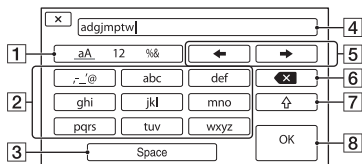
1 MENUボタンを押す。

2 /SET ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [EDIT DEVICE NAME]を選択する。

[Wi-Fi Direct]などの機器名称が表示されます。

変更する場合は、以下の方法でキーボードから入力します。

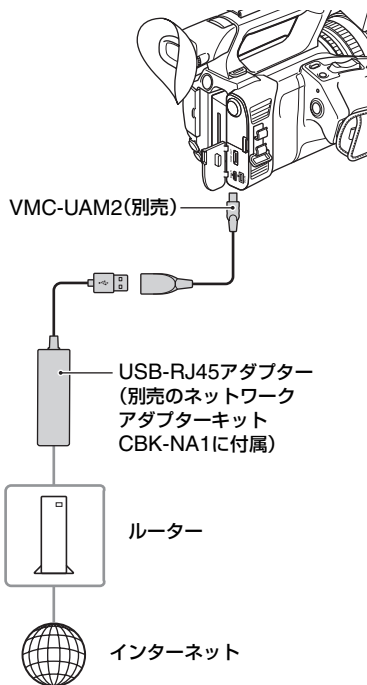
キーボードの使いかた



各部名称	機能
①文字種切り換え	アルファベット/数字/記号を切り換える
②キーボード	選択するたびに表示されている文字が順番に表示される
③スペース	空白を空ける
④入力ボックス	入力した文字が表示される
⑤カーソル移動	入力ボックス内のカーソルを左右に移動する
⑥削除	カーソルの直前の文字を削除する
⑦⇧	アルファベットの大文字/小文字を切り換える
⑧OK	入力内容を確定する

途中で入力をやめる場合は、**X** を押してください。

有線LANで本機をネットワークに接続します。



◆ご注意

- VMC-UAM2やUSB-RJ45アダプターを取り付けたり取り外したりするときは、本機の電源を切ってください。

1 VMC-UAM2(別売)を本機のマルチ/マイクロUSB端子に取り付ける。

2 USB-RJ45アダプター(別売)をVMC-UAM2に取り付け、LANケーブルと接続する。

ストリーミング (STREAMING)機能 を使う

本機をネットワークに接続し、撮影中のライブ映像を外部機器にストリーミング配信します。

ストリーミング対応フォーマット

記録されるオリジナルファイルの動画とストリーミング配信される映像のサイズには制約があります。

詳しくは、「ストリーミング対応フォーマット」(134ページ)をご確認ください。

ストリーミングの設定をする(プリセット登録)

ストリーミングの設定をあらかじめPRESETに登録して、おこのみの設定でストリーミング配信します。設定できる項目は以下のとおりです。

SIZE

ストリーミングの画像サイズを選ぶ。

- 1280×720
- 640×360

🗨️ちよつと一言


- より安定したストリーミング配信をするためには、「640×360」のサイズを選択してください。

DESTINATION SET

ストリーミングの配信先を設定する。

- **Host Name**: 受信機のIPアドレス、またはホスト名
- **Port**: 受信機のストリーミングに使用するポート番号

3 MENUボタンを押す。

4  (NETWORK SET)メニュー → [WIRED LAN SET] → [IP ADDRESS SET]を選択する。

5 アクセスポイントの詳細を設定する。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。

[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

🗨️ちよつと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

1 MENUボタンを押す。

ストリーミング(STREAMING)機能を使う(つづき)

- 2 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで、
📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [STREAMING] → お好みの
PRESET番号 → 設定項目を選
ぶ。

3 設定値を選ぶ/設定する。

- 4 MENUボタンを押して撮影画面
に戻る。

ストリーミング配信する

接続しているネットワークを使用して、撮影中の動画をストリーミング配信します。

- 1 ネットワークとの接続設定が完了
していることを確認する(82ペ
ージ)。

2 MENUボタンを押す。

- 3 📶 (NETWORK SET)メニュー
→ [STREAMING] →
[EXECUTE] → ネットワーク接
続方法を選ぶ。

- ネットワークとの接続を開始しま
す。



- ストリーミングをキャンセルする場
合は、MENUボタンまたは
[STREAMING]を割り当てた
ASSIGNボタンを押すか、**[X]**を選
びます。
- 接続が完了すると、画面に📶が表
示され、配信開始スタンバイ状態に
なります。

4 THUMBNAILボタンを押し、スト リーミング配信を開始する。

- 画面のアイコンが📶に切り換わり
ます。

5 もう一度THUMBNAILボタンを 押し、ストリーミング配信を停止 する。

🗨️ちょっと一言

- [STREAMING]をASSIGNボタンに割り当て
ることもできます(62ページ)。割り当てた
ASSIGNボタンを押すと、ネットワーク接続方
法選択画面が表示されます。
- [STREAM OPERATION]をASSIGNボタ
ンに割り当てることができます。割り当てた
ASSIGNボタンを押すとストリーミング配信
の開始/停止ができます(62ページ)。
- メモリーカードへの動画記録とストリーミ
ング配信を同時に行う場合は、ストリーミン
グ配信のスタンバイ完了後、録画を行ってくだ
さい。
- ストリーミング配信スタンバイ中、またはスト
リーミング配信中にエラーが発生した場合は、
状況に応じてメッセージが表示されます。
[RECONNECT]が表示された場合、選ぶと本
機は再接続を試みます。[END]を選ぶと、本機
は接続を終了します。手順1からやり直してく
ださい。

📌ご注意

- 以下の状態で本機を使用している場合、スト
リーミング機能は使えません。

- 再生中
 - サムネイル表示中
 - 記録方式がAVCHDで、以下のフォーマットのとき
1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p
 - 記録方式がXAVC QFHDで、以下のフォーマットのとき
2160/30p 100Mbps、2160/24p 100Mbps、2160/25p 100Mbps
 - ストリーミング機能をオンにしている場合、以下の機能は使えません。
 - スロー&クイックモーション(ハイフレームレートを含む)
 - プロキシ記録
 - 顔認識 (FACE DETECTION)
 - カラーバー (COLOR BAR)
 - 日付記録 (DATE REC)
 - 同時/リレー記録 (SIMULTANEOUS REC/RELAY REC)
 - [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線LANでのみ接続できます。
 - ストリーミング配信では、インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。
 - 送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。
 - アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
 - ネットワークの状況により、一部のフレームが再生できない場合があります。
 - 動きの激しいシーンでは、画質が悪くなります。
- 配信音量のレベルを調整する場合はAUDIO LEVELダイヤルで入力音量の調整をしてください。
 - 露出調整(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)
 - ホワイトバランス

ストリーミング中の本機の操作について

ストリーミングでは、以下の機能が有効です。操作はスイッチやボタンなどのハードキーを使用します。メニュー画面からは操作できません。

- ズーム
- ピント合わせ



FTP転送機能を使う

本機をネットワークに接続し、記録した動画ファイルを直接FTPサーバーに転送します。プロキシーファイルも転送できます。

FTPサーバーを登録する

FTP転送に使用するFTPサーバーを登録します。サーバーは3つまで登録できます。ここではFTP SERVER1に登録する方法を説明します。

1 MENUボタンを押す。

2 /SET ボタンで、
 (NETWORK SET)メニュー
→ [FTP TRANSFER] → [FTP
SERVER1]を選ぶ。

FTP SERVER1の設定画面が表示されます。

3 各設定項目名を選んで、FTP
SERVER1の設定内容を入力する。

キーボードで入力して[OK]を選びます。

 ちょっと一言

- キーボードの入力方法については、86ページをご覧ください。

DISPLAY NAME

登録するFTPサーバーの表示名を入力する。

DESTINATION SET

- **Host Name**: サーバーのホスト名またはIPアドレス
- **Secure Protocol**: 安全なFTP転送をするかどうかの設定
- **Port**: FTPサーバーのポート番号

- **Directory**: 転送先のディレクトリー

USER INFO SET

ユーザー名とパスワード


ご注意

- Secure Protocolは[ON]に設定することを推奨します。[OFF]の場合は、FTPサーバーとの通信内容が傍受されたり、意図しないFTPサーバーに接続したりすることで、ユーザー名、パスワード、動画ファイルのデータが漏洩したりする可能性があります。

FTPサーバーを選択する

登録したFTPサーバーの中からFTP転送に使用するサーバーを選択します。

1 MENUボタンを押す。

2 /SET ボタンで、
 (NETWORK SET)メニュー
→ [FTP TRANSFER] → [FTP
SERVER SELECT]を選ぶ。

3 お好みのサーバーを選ぶ。

FTP転送する


接続しているネットワークを使用して、ファイルをFTP転送します。

1 ネットワーク設定が完了していることを確認する(82ページ)。

2 THUMBNAILボタンを押す。

3 サムネイル画面で、転送したいファイルが保存されているメディアとファイルフォーマットを選ぶ。

4 MENUボタンを押す。

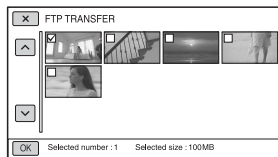
5 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ /SET ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [FTP TRANSFER] → [EXECUTE] → ネットワーク接続方法を選ぶ。

- ネットワークへの接続を開始します。
- FTPサーバーへの接続に成功すると、サムネイル画面が表示されます。
- 手順3でファイルフォーマットを[XAVC QFHD]、[XAVC HD]、[MPEG HD 422]、[MPEG HD 420]のいずれかにしたときは、転送するファイルをMainとPROXYから選択してください。

 ちよつと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(62ページ)。

6 FTP転送したいファイルのサムネイルを選択し、**[OK]**を選ぶ。

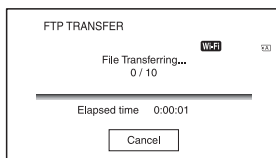


- ファイルは最大100個まで選べます。

- DISPLAYボタンを押すとプレビューできます。
- プロキシファイルがあるファイルのサムネイルには**[PX]**が表示されます。

7 FTP転送が終了したときに自動で本機の電源を切るか(YES)切らないか(NO)を選ぶ。

- ファイル転送を開始します。



- 転送をやめるには[Cancel]を選びます。
- 転送が終わると、手順7で[YES]を選んだ場合は自動的に本機の電源が切れます。
[NO]を選んだ場合は[OK]を選びます。続けてファイル転送することもできます。

 ご注意

- FTP転送は、本機で記録されたファイルのみ可能です。
- ファイル転送を開始したあとは、メモリーカードを入れ換えしないでください。
- 撮影モードではFTP転送できません。THUMBNAİLボタンを押して再生モードにしてから操作してください。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線LANでのみ接続できます。

FTP転送結果を確認する

ファイルがすべて転送できたかどうか確認できます。転送完了後に本機の電源が自動で切れる設定をした場合には、転送結果を確認することをおすすめします。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [FTP TRANSFER] → [FTP RESULT] を選ぶ。

- 転送結果が表示されます。
- 表示される転送結果は以下の内容です。

Date

転送開始日時

Number of Contents

転送済みコンテンツ数/総転送コンテンツ数

Result

転送結果

ルート証明書を読み込む

Secure Protocolを[ON]にしてFTP転送する場合は、FTPサーバーを検証するためのルート証明書が必要です。ルート証明書は本機に内蔵されていて、更新もできません。ルート証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

1 ルート証明書をメモリーカードに書き込む。

証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「certification.pem」のファイル名で書き込んでください。

2 ルート証明書が書き込まれたメモリーカードを本機のメモリーカードスロットAに入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 ///SET ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [ROOT CERTIFICATE] → [OK] を選ぶ。

- ルート証明書の読み込みを開始します。
- 「Completed.」と表示されたら、読み込みは完了です。**[OK]**を選んで画面を消してください。

ネットワーク設定をリセットする

④ご注意

- 読み込み中はメモリーカードを取り出さないでください。
- ネットワーク設定をリセットすると(93ページ)、メモリーカードから読み込んだルート証明書は削除され、本機のルート証明書は初期化されます。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ネットワーク設定に関する、以下の設定をリセットします。

- スマートフォン操作のSSID/パスワード(80ページ)
- ストリーミング設定(87ページ)
- FTP転送設定(90ページ)
- FTP転送結果(92ページ)
- 有線LAN設定(86ページ)
- アクセスポイント設定(82~85ページ)
- 機器名称(85ページ)

1 MENUボタンを押す。

- ## 2 /SET ボタンで、 (NETWORK SET)メニュー → [NETWORK RESET] → [OK]を選ぶ。
-

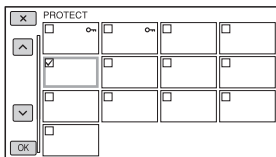
動画を保護する(プロテクト)

動画を誤って削除してしまうことを防げます。

1 THUMBNAIL画面でMENUボタンを押す。

2 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ /SET ボタンを押して
 (EDIT)メニュー →
 [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画を選ぶ。
 画像に✓マークが表示されます。



- DISPLAYボタンを押すと、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

4 画面表示に従って OK を選ぶ。

プロテクトを解除するには

手順3で✓マークがついている動画を選ぶ。

✓マークが消えます。

動画を分割する

指定した場所で動画を分割できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ /SET ボタンを押して
 (EDIT)メニュー →
 [DIVIDE]を選ぶ。

3 分割したい場所で II を選ぶ。

II で場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 画面表示に従って OK を選ぶ。

❗ご注意

- 動画の分割はAVCHDのみ可能です。
- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、 II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

動画を削除する

不要な動画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。

🔔ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(94ページ)。
- 大切な動画は、あらかじめパソコンなどに保存してください。

💡ちょっと一言

- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(96ページ)。

- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

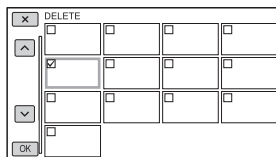
4 画面表示に従って **[OK]** を選ぶ。

1 THUMBNAIL画面でMENUボタンを押す。

2 **↑/↓/←/→/SET** ボタンを押して **[EDIT]**メニュー → **[DELETE]** を選ぶ。

3 削除する動画を選ぶ。

画像に**✓**マークが表示されます。



- **[DISPLAY]**ボタンを押すと、プレビューできます。**[X]**で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に**→**が表示されます。

メモリーカードを初期化する

初期化とはメモリーカード内のデータを削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。

④ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画も削除されます。

1 MENUボタンを押す。

2 /SET ボタンを押して (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

3 初期化するメモリーカードを選ぶ。

4 画面表示に従って を選ぶ。

④ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプターを取り外したりしないでください(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します)。

メモリーカードのデータを完全に消去する

メモリーカードは繰り返し使用すると”ごみ”データが蓄積し、保証された速度で書き込みができなくなることがあります。その結果、撮影中に記録が停止してしまう恐れがあります。

通常の「メディア初期化」ではなく、すべてのデータを削除する「データ消去」を実行することで、撮影時のメディア書き込みエラーを極力削減できます。

④ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 本機をACアダプター(付属)を使ってコンセントにつなぐ(22ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 /SET ボタンを押して (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

4 消去するメモリーカードを選ぶ。 消去の画面が表示されます。

5 [Empty] → を選ぶ。

管理ファイルを修復する

ⓘ ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

💡 ちょっと一言

- メディアへのデータ書き込みエラーを予防するには、撮影前にカムコーダーでメディアデータ消去を実行してください。通常の「MEDIA FORMAT」ではなく、すべてのデータを削除する[Empty]を実行することで、撮影時のメディア書き込みエラーを極力削減できます。

管理情報とメモリーカードの動画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

ⓘ ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENUボタンを押す。

2 SET ボタンを押して (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE]を選ぶ。

3 管理ファイルを確認するメモリーカードを選ぶ。

4 を選ぶ。

管理ファイルの確認が始まります。不整合が見つからなかった場合は、 を選んで終了してください。

5 画面表示に従って を選ぶ。

ⓘ ご注意

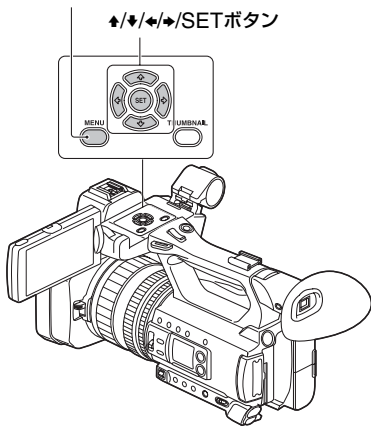
- [Repairing the image database file.]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

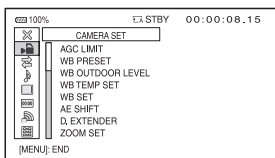
画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

MENUボタン



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 ↑/←/→/SET ボタンを押してメニューアイコンを選び、押して決定する。

- CAMERA SET (99ページ)
- REC/OUT SET (102ページ)
- AUDIO SET (104ページ)
- DISPLAY SET (107ページ)
- TC/UB SET (110ページ)
- NETWORK SET (112ページ)
- OTHERS (114ページ)
- EDIT (116ページ)

3 ↑/←/→/SET ボタンを押して設定する項目を選び、押して決定する。

4 ↑/←/→/SET ボタンを押して希望の設定を選び、押して決定する。

5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[↩ RETURN] を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

📌 ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選択できない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。


メニュー一覧

各メニュー項目の設定の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太字で示しています。
メニュー項目の表示順序は、実際とは異なる場合があります。

CAMERA SETメニュー

CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
AGC LIMIT (AGCリミット)	OFF, 24dB ~ 0dB	オートゲインコントロール(AGC)の上限值を選ぶ。 ●ゲインを手動調節していると効果はありません。
WB PRESET (WBプリセット)	OUTDOOR, INDOOR, MANU WB TEMP	プリセットホワイトバランスを使うときに選ぶ(44ページ)。
WB OUTDOOR LEVEL (WB屋外レベル)	-7 ~ +7 (0)	プリセットホワイトバランスが [OUTDOOR] のときのオフセット量を設定する。 -にすると青めに、+にすると赤めになります。
WB TEMP SET (WB色温度設定)	2300K ~ 15000K (6500K)	プリセットホワイトバランスが [MANU WB TEMP] のときの色温度の値を設定する。
WB SET (WBワンプッシュ取 込)	-	撮影環境に応じたホワイトバランスをワン プッシュで取り込む(45ページ)。
AE SHIFT (AEシフト)	ON/OFF OFF, ON	AEシフト機能のオン/オフを切り換える。
	LEVEL -2.0EV ~ +2.0EV (0EV)	明るさを調節する。 ●アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。
D.EXTENDER (デジタルエクステン ダー)	OFF, ON	2倍に拡大して撮影する機能(デジタルエク ステンダー)のオン/オフを切り換える。 ●XAVC QFHDではこの機能は使えません。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ZOOM SET (ズーム設定)	ZOOM TYPE OPTICAL ZOOM ONLY, ON [CLEAR IMAGE ZOOM], ON [DIGITAL ZOOM]	ズームレバー操作時に使用するズームタイプを選ぶ。 OPTICAL ZOOM ONLY: 光学ズームのみ使用する。 ON [CLEAR IMAGE ZOOM]: 光学ズームに加え、全画素超解像ズームも使用できる。 ●全画素超解像ズーム (CLEAR IMAGE ZOOM) とは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。 ON [DIGITAL ZOOM]: 光学ズーム、全画素超解像ズームに加え、デジタルズームも使用できる。pQ が表示されている範囲は画質が劣化します。 ●全画素超解像ズーム中とデジタルズーム中は、顔検出が無効になります。
	HANDLE ZOOM ZOOM OPERATION ON, OFF	ハンドルズームを使用するかどうかを設定する。
	ZOOM SPEED 1 ~ 8(3)	ハンドルズームのズームスピードを調整する。
 STEADYSHOT (手ブレ補正)	STANDARD, ACTIVE, OFF	撮影時の手ブレ軽減を設定する。 STANDARD (📷): 手ブレ補正機能を使う。 ACTIVE (📷): 強い手ブレ補正効果が得られる。 ●[ACTIVE] 設定時は、画角が1.08倍テレシフトします。 OFF (📷): 手ブレ補正機能を使わない。 ●三脚使用時は [OFF] にすることをおすすめします。
CONVERSION LENS (コンバージョンレンズ)	OFF, WIDE CONVERSION	本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定すると、コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化される。
S&Q MOTION (スロー&クイックモーション)	HIGH FRAME RATE OFF, ON REC FORMAT (60ページをご覧ください。) FRAME RATE 1~60fps(60fps)	ハイフレームレートのスローモーション撮影をする(58ページ)。 スロー&クイックモーション撮影を設定する(58ページ)。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
AUTO MODE SET (オートモード設定)	AUTO、INTELLIGENT AUTO、SCENE SELECTION	シーンに合わせて最適な設定で撮影するオートモードを設定する(49ページ)。
SCENE SELECTION SET (シーンセレクション設定)	NIGHT SCENE、SUNRISE&SUNSET、FIREWORKS、LANDSCAPE、PORTRAIT、SPOTLIGHT、BEACH	オートモード設定が[SCENE SELECTION]のときに使うシーンを設定する(49ページ)。
AUTO BACK LIGHT (自動逆光補正)	OFF、ON	自動で逆光補正するかどうかを切り換える。
FACE DETECTION (顔認識)	OFF、ON	人物の顔を検出してその顔にピントを合わせる機能(顔認識)のオン/オフを切り換える(36ページ)。
VIDEO LIGHT (ビデオライト)	POWER LINK、REC LINK、REC LINK+STBY、AUTO	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライト(別売)の点灯方式を設定する。 POWER LINK  : 本機の電源の入/切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 REC LINK  : 本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 REC LINK+STBY  : 本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。 AUTO  : 自動で点灯する。
NIGHTSHOT LIGHT (NIGHTSHOTライト)	ON、OFF	NIGHTSHOT(50ページ)撮影時に赤外線を発光するかどうかを切り換える。 赤外線を発光すると、よりはっきりとした画像を記録することができます。 ●NIGHTSHOT発光部(10ページ)を指などで覆わないでください。 ●ライトが届く範囲は、約3メートルです。

メニュー一覧(つづき)

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
COLOR BAR (カラーバー)	ON/OFF OFF、ON	カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。 ●フォーマットを切り換えたり、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF]に戻ります。 ●録画中および拡大フォーカス中、[COLOR BAR]の設定を変更することはできません。
	TONE OFF、ON	カラーバー表示中に、音声トーン信号(1kHz:フルビット -20dB([60i]選択時)、-18dB([50i]選択時))を出力するかどうか設定する。 オフにすると、カラーバー記録中はマイクからの音声が記録されます。
PICTURE PROFILE (ピクチャープロフィール)	51ページをご覧ください。	ガンマやディテールなどを調節して好みの画質を設定する(51ページ)。

REC/OUT SETメニュー

REC/OUT SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
REC SET (録画設定)	FILE FORMAT XAVC QFHD、XAVC HD、MPEG HD 422、MPEG HD 420、AVCHD	記録方式を選択する(38ページ)。
	REC FORMAT (38ページをご覧ください。)	録画フォーマットを設定する(38ページ)。
	SIMUL/RELAY REC OFF、SIMULTANEOUS REC、RELAY REC	複数のメモリーカードを使って、リレー記録(32ページ)または同時記録(33ページ)を設定する。
	REC BUTTON SETTING (33ページをご覧ください。)	[SIMULTANEOUS REC]のときのSTART/STOPボタンとハンドル録画ボタンの動きを設定する(33ページ)。

REC/OUT SET



メニュー項目	細目と設定値	内容
	PROXY REC MODE ON/OFF OFF、ON SIZE 1280×720、640×360	プロキシ記録を設定する(40ページ)。
VIDEO OUT (映像出力)	OUTPUT SELECT OUTPUT SELECT SDI、HDMI、VIDEO QFHD REC OUTPUT VF/LCD PANEL、 EXTERNAL OUTPUT	映像信号の出力先を選択する。 XAVC QFHDで記録中の出力先を選択する(39ページ)。
	SDI/HDMI [60i] 選択時 2160p/1080p/480i、 2160p/720p/480i、 2160p/1080i/480i 1080p/480i、 720p/480i、 1080i/480i、480p、 480i [50i] 選択時 2160p/1080p/576i、 2160p/720p/576i、 2160p/1080i/576i 1080p/576i、 720p/576i、 1080i/576i、576p、 576i	SDI OUT/HDMI OUT端子からの出力信号の解像度を選ぶ。 ●接続するケーブルによる出力信号のフォーマットは72ページをご覧ください。
	24p/30p OUTPUT 24p/30p、 24PsF/30PsF、 60p(Pull Down)	[REC FORMAT]で24pまたは30pを選んでいるときの出力フォーマットを設定する。 ●[60i] 選択時のみ設定できます。 ●出力信号のフォーマットは72ページをご覧ください。
	25p OUTPUT 25p、25PsF、 50p(Pull Down)	[REC FORMAT]で25pを選んでいるときの出力フォーマットを設定する。 ●[50i] 選択時のみ設定できます。 ●出力信号のフォーマットは72ページをご覧ください。


メニュー一覧(つづき)

REC/OUT SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	DOWN CONVERT TYPE SQUEEZE、LETTER BOX (16:9)、EDGE CROP	映像信号出力形式を設定する。 480p/480i、576p/576iで4:3の映像を出力する場合の形式を選択します。
	HDMI TC OUTPUT OFF、ON	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうか設定する。
	SDI/HDMI REC CONTROL OFF、ON	本機と外部レコーダーをつなぐと、本機の手動で外部レコーダーへ録画の開始/停止を行うかどうか設定する。

AUDIO SETメニュー

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
VOLUME	-	音量を調整する。
AVCHD AUDIO FORMAT (AVCHD録音フォーマット)	LINEAR PCM、DOLBY DIGITAL	記録音声フォーマットを切り換える。 LINEAR PCM(LPCM): リニアPCM方式で記録する。 DOLBY DIGITAL(DolbyD): ドルビーデジタル方式で記録する。
AUDIO LIMIT (音声リミッター)	OFF、ON	CH-1/CH-2の音割れ防止機能のオン/オフを切り換える。 ●AUTO/MAN(CH-1/CH-2)スイッチが「MAN」のときのみに有効です。
HEADPHONE OUT	STEREO、MIX MONO、CH1、CH2	ヘッドホンの音声を設定する(48ページ)。

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
INT MIC SET (INT MIC設定)	INT MIC SENS NORMAL、HIGH	内蔵マイク使用時の録音感度を設定する。 NORMAL: 業務用機器で一般的に使われる感度。 HIGH: 民生用機器で一般的に使われる感度。
	INT MIC WIND OFF、ON ()	内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をするかどうかを設定する。
XLR SET (XLR設定)	INPUT CH SELECT INPUT1/INPUT1、 INPUT1/INPUT2	CH-1とCH-2のそれぞれに、どの信号を記録するかを選択する(47ページ)。 INPUT1/INPUT1: CH-1、CH-2ともINPUT1の入力を記録する。 INPUT1/INPUT2: CH-1にはINPUT1の信号を、CH-2にはINPUT2の信号をそれぞれ記録する。
	XLR AGC LINK SEPARATE、LINKED	外部マイク使用時のCH-1/CH-2のAGC(オートゲインコントロール)の連動/非連動を切り換える。 SEPARATE: AGC非連動にする(CH-1/CH-2を別々の音声として記録する)。 LINKED (): AGC連動にする(CH-1/CH-2をステレオのように1組の音声として記録する)。ステータスチェック画面にA【が表示されます。 •AUTO/MANスイッチがCH-1/CH-2ともに[AUTO]で、INPUT1/INPUT2スイッチが両方とも[LIN/MIC/MIC+48V]から同じ音源を選択したときに有効です(47ページ)。





AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	INPUT1 TRIM -18dB ~ +12dB (0dB)	<p>INPUT1端子またはINPUT2端子から録音するときの入力信号のレベルをそれぞれ調節する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機は、録音レベルを「AUTO」設定時に、INPUT TRIMを[0dB]に設定すると、-48dBu入力時に音量を基準録音レベルで記録するように設計されています。たとえば、感度-30dB(0dB=1V/Pa、1kHz)のマイクを接続して、1kHz、74dB SPLの音圧を入力するとき(マイクの出力は-48dBuとなる)は、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。 また感度-36dBのマイクを使用する場合、INPUT TRIMを[+6dB]に設定すると、感度-30dBマイクとの感度の差異を吸収することができます。 ●INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。 ●大音量で音がひずむ理由として、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。 ●INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。 ●INPUT1スイッチまたはINPUT2スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。
	INPUT2 TRIM -18dB ~ +12dB (0dB)	
	INPUT1 WIND OFF、ON	
	INPUT2 WIND OFF、ON	<p>INPUT1端子またはINPUT2端子の風音低減のオン/オフをそれぞれ切り換える。</p> <p>オンにすると、ステータスチェック画面にが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●INPUT1スイッチまたはINPUT2スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

DISPLAY SETメニュー

DISPLAY SET

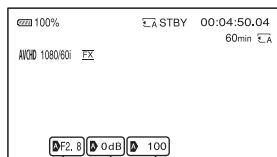
メニュー項目	細目と設定値	内容
HISTOGRAM (ヒストグラム)	OFF, ON, ON [ZEBRA POINT]	ヒストグラムを表示するかどうかを設定する。 ヒストグラムは、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。 OFF: ヒストグラムを表示しない。 ON: ヒストグラムを表示する。 100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。 ON [ZEBRA POINT]: ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。[ZEBRA]で設定されているレベルにラインが表示される。
ZEBRA (ゼブラ)	ON/OFF OFF, ON	ゼブラを表示するかどうかを設定する。 ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。 ●記録した画像にゼブラは記録されません。
	LEVEL 70 ~ 100, 100+ (70)	輝度レベルを選ぶ。
PEAKING (ピーキング)	ON/OFF OFF, ON	ピーキング(画像の輪郭強調)を表示するかどうかを設定する。 ●拡大フォーカス(35ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。 ●記録した画像にピーキングは記録されません。
	COLOR WHITE, RED, YELLOW	ピーキングの色を選ぶ。
	LEVEL HIGH, MIDDLE, LOW	ピーキング感度を選ぶ。

メニュー一覧(つづき)

DISPLAY SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
MARKER (マーカー)	ON/OFF OFF, ON	マーカーを表示するかどうかを設定する。 複数の種類のマーカーを同時に表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> マーカーはメモリーカードに記録されません。 マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしている場合、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。 [FOCUS MAGNIFIER]を使用中は、マーカーを表示できません。
	CENTER ON, OFF	 (センターマーカー)
	ASPECT OFF, 4:3, 13:9, 14:9, 15:9, 1.66:1, 1.85:1, 2.35:1	 (アスペクトマーカー)
	SAFETY ZONE OFF, 80%, 90%	 (セーフティーゾーン)
	GUIDEFAME OFF, ON	 (ガイドフレーム)
FOCUS MAG RATIO (拡大フォーカス倍率)	×4.0, ×8.0, ×4.0/×8.0	拡大フォーカスの倍率を設定する。 「×4.0/×8.0」を選択すると、ASSIGN5/ FOCUS MAG ボタンを押すたびに [×4.0] → [×8.0] → [OFF] の順に切り換わります。

DISPLAY SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
CAMERA DATA DISPLAY (カメラデータ表示)	OFF, ON	アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を表示するかどうかを設定する。



アイリス値 シャッタースピード値
ゲイン値

- この設定に関わらず、手動設定時は設定値が表示されます。
- A**は自動設定されていることを示します。

AUDIO LEVEL DISPLAY (音声レベル表示)	ON, OFF	オーディオレベルメーターを表示するかどうかを設定する。
ZOOM DISPLAY (ズーム表示)	BAR, NUMBER	ズーム位置をバーと数値のどちらで表示するかを設定する。
FOCUS DISPLAY (フォーカス表示)	METER, FEET	フォーカス距離をメートルとフィートのどちらで表示するかを設定する。
SHUTTER DISPLAY (シャッター表示)	SECOND, DEGREE	シャッター表示を秒と角度のどちらで表示するか設定する。 本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを360°と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。 ●DATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定に関わらず秒表示となります。 ●360°より長いシャッタースピードの場合、360°の整数倍(360°x2など)で表示します。
DATA CODE (日付/データ表示)	OFF, DATE/TIME, CAMERA DATA	再生時に表示する情報を選ぶ。
LCD BRIGHT (パネルの明るさ)	NORMAL, BRIGHT	液晶モニターの明るさを調節する。 ●録画される画像に影響はありません。

メニュー一覧(つづき)

DISPLAY SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
VF COLOR TEMP. (ファインダー色温度)	-2/-1/0/+1/+2(0)	ファインダーの色温度を設定する。色温度が低いとファインダーは赤みを帯び、高いと青みを帯びます。
VF/LCD PANEL	LCD PANEL、AUTO	ファインダーと液晶モニターの表示切り換えについて設定する(27ページ)。
DISPLAY OUTPUT (画面表示出力)	LCD PANEL、ALL OUTPUT	タイムコードなどの画面表示の出力先を設定する。 液晶モニターだけに出力するか、HDMI OUT/VIDEO OUTの各端子と液晶モニターに出力するかを設定できます。ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。 ●マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしても、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。 ●[FOCUS MAGNIFIER]を使用中は、マーカーを表示できません。

TC/UB SETメニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC/UB DISPLAY (TC/UB 表示)	TC、U-BIT	表示をタイムコードまたはユーザービットに切り換える。
TC PRESET	PRESET、RESET	タイムコードを設定する(57ページ)。
UB PRESET	PRESET、RESET	ユーザービットを設定する(57ページ)。

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC FORMAT	DF, NDF	<p>60iのときにタイムコードの記録方式を切り換える。50iのときは、[NDF]に固定されません。</p> <p>DF:タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。</p> <p>NDF:タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●60iのときでも、[REC FORMAT]でフレームレートの値を24に設定すると[NDF]に固定されます。 ●ドロップフレームとは タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。
TC RUN	REC RUN, FREE RUN	<p>タイムコードの歩進を設定する。</p> <p>REC RUN: 記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●[REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> -録画フォーマットを切り換えたとき -メモリーカードを取り外したとき <p>FREE RUN: 本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。</p>
TC MAKE	PRESET, REGENERATE	<p>タイムコードの続けかたを設定する。</p> <p>PRESET: 新たに設定したタイムコードをメモリーカードに記録する。</p> <p>REGENERATE: メモリーカードに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進します。

メニュー一覧(つづき)

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
UB TIME REC	OFF,ON	時刻をユーザービットコードとして記録するかどうか設定する。 ●[ON]のときは、下位2桁は00に固定されます。

NETWORK SETメニュー

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CTRL W/ SMARTPHONE (スマートフォン操作)		本機をスマートフォンを組み合わせで操作する(78ページ)。
STREAMING (ストリーミング)	PRESET SELECT PRESET1、 PRESET2、PRESET3 PRESET1/ PRESET2/ PRESET3 SIZE 640x360、 1280x720 DESTINATION SET	ストリーミングの設定をする(87ページ)。
FTP TRANSFER (FTP転送)	FTP SERVER SELECT FTP SERVER1、FTP SERVER2、FTP SERVER3	FTPサーバーを選択する(90ページ)。
	FTP SERVER1/FTP SERVER2/FTP SERVER3 DISPLAY NAME DESTINATION SET USER INFO SET	FTPサーバーを登録する(90ページ)。
	FTP RESULT	FTP転送結果を確認する(92ページ)。
WIRED LAN SET (有線LAN設定)	IP ADDRESS SET	有線LANの設定をする(86ページ)。

NETWORK SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Wi-Fi SET (Wi-Fi設定)	ACCESS POINT SET	<ul style="list-style-type: none"> ●アクセスポイントを選んで設定する(82ページ)。 ●WPS PIN方式を使ってアクセスポイントを登録する(84ページ)。 ●アクセスポイントを手動で登録する(84ページ)。
	WPS	WPS機能を使ってアクセスポイントを登録する(83ページ)。
	EDIT DEVICE NAME	機器名称を変更する(85ページ)。
	SSID/PW RESET	接続情報をリセットする。 [OK]を選択すると[CTRL W/SMARTPHONE]を使用するために登録した接続情報がリセットされます。 <ul style="list-style-type: none"> ●接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。
	DISP MAC ADDRESS	本機のMACアドレスを表示する。
AIRPLANE MODE (飛行機モード)	OFF、ON	飛行機モードをオン/オフする。オンにすると、飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi機能を使用する設定を一時的にすべて無効にできます。
ROOT CERTIFICATE (ルート証明書)		ルート証明書を読み込む(92ページ)。
NETWORK RESET (ネットワークリセット)		ネットワークの各種設定をリセットする(93ページ)。

OTHERSメニュー

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
STATUS CHECK		本機の設定を確認する(69ページ)。
CAMERA PROFILE (カメラプロフィール)	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B	カメラプロフィールの読み込み、保存、削除を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●カメラプロフィールは、メニュー、ピックアッププロフィール、ボタンなどの設定値をまとめて保存したものです。メモリーカードに99個まで保存できます。 ●60iと50iのカメラプロフィールには互換性はありません。 ●保存した設定はパソコンで編集できません。 ●パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。 ●異なる型名の機種で保存したカメラプロフィールやパソコンなどで編集したカメラプロフィールは読み込めません。メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロフィールも削除されます。
ASSIGN BUTTON (ASSIGNボタン登録)	ASSIGN1, ASSIGN2, ASSIGN3, ASSIGN4, ASSIGN5, ASSIGN6	ASSIGNボタンにお好みの機能を割り当てる(62ページ)。
CLOCK SET (日時合わせ)		日時を再設定する(24ページ)。
AREA SET (エリア設定)		海外で使用するとき、時差を設定する。時計を止めることなく時差補正ができます
SUMMERTIME (サマータイム)	OFF, ON	サマータイムを使うかどうかを設定する。ONにすると、本機の時計が1時間進む。
LANGUAGE		表示言語を設定する。
DATE REC (日付記録)	OFF, ON	撮影時に日付と時刻を画像に直接記録するかどうかを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ●スキャン方式がインターレースのときのみ設定できます。 ●ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字には影響ありません。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
BEEP (操作音)	OFF, ON	撮影スタート/ストップの操作時や、警告表示時などに操作音を出すかどうかを設定する。
REC LAMP (録画ランプ)	ON, OFF	撮影時に本体の録画ランプを点灯させるかどうかを設定する。
REMOTE CONTROL (リモコン)	ON, OFF	赤外線ワイヤレスリモコン(16ページ)を使うかどうかを設定する。
60i/50i SEL (60i/50i切換)		現在のフレームレートを切り換える。 60i: 24p, 30p, 60i, 60pで記録する場合 50i: 25p, 50i, 50pで記録する場合
MEDIA FORMAT (メディア初期化)	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B	メモリーカードを初期化する(96ページ)。
REPAIR IMAGE DB FILE (管理ファイル修理)	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B	メモリーカードの管理ファイルを修復する。(97ページ)
USB CONNECT (USB接続)		USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT]画面が表示されない場合に使う。
USB LUN SET (USB LUN設定)	MULTI, SINGLE	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常はMULTIのまま使用してください。どうしても接続できない場合のみ、[SINGLE]に設定してください。
OPERATION TIME (通電時間)		本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。
VERSION DISPLAY (バージョン表示)		カメラのバージョンを表示する。 ●本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。 ●アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。
INITIALIZE (設定リセット)		日時を含めすべての設定を初期化する。 ●ピクチャープロフィールで設定した内容は初期化されません。

EDITメニュー

EDIT

メニュー項目	細目と設定値	内容
PROTECT	—	ファイルを保護する(94ページ)。
DIVIDE	—	動画を分割する(94ページ)。
DELETE	—	動画を削除する(95ページ)。

EDITメニューは、サムネイル画面や再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

困ったときは

故障かな?と思ったら


困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 117～123ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約1分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③  (OTHERS)メニュー → INITIALIZE を選ぶ。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。


- 電源/画面/リモコンについて…117ページ
- メモリーカードについて…118ページ
- 撮影について…119ページ
- 再生について…121ページ
- テレビ接続について…122ページ
- コピー/編集/外部機器接続について…122ページ
- パソコン接続について…123ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(21ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(21ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
-  (OTHERS)メニュー → INITIALIZEを選ぶ。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

本体が温かくなる。

- ご使用中に本体が温かくなりますが故障ではありません。

故障かな？と思ったら(つづき)

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(21、139ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶モニターを閉めたときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(21、139ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整ダイヤルを画像がはっきり見えるように動かす(26ページ)。

ファインダーの画像が表示されない。

- [VF/LCD PANEL]の設定を[AUTO]にする(27ページ)。
- ASSIGN6/VF/LCD PANELボタンを押す(27ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(115ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(16ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- リモコン側の機器からの操作に対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態ですぐに接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合があります。本体側のREMOTE端子を抜いてください。

メモリーカードについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けられない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(96ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(138ページ)。

メモリーカードのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(94ページ)。

撮影について

START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(66ページ)。
- メモリーカードの空き容量がない。新しいメモリーカードに変えるか、初期化する(96ページ)。または不要な画像を削除する(95ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(129ページ)。不要な画像を削除する(95ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

ハンドルズームが動かない。

- [HANDLE ZOOM]の[ZOOM OPERATION]をONにする(100ページ)

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなる場合があります(128ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- 電源が入ったままバッテリーやACアダプターを取り外した。電源を切り、アクセラランプが消灯し電源が切れた事確かめてから、外してください。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- マニュアル時に「AUTO」にして自動調整にする(35ページ)。
- オートフォーカスが動きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(35ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- FULL AUTOボタンを押してオートモードをオフにする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(43ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーン現象と呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(43ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(43ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]を「-」側に調節する(56ページ)。

タイムコードがつかない。

- [REC FORMAT]の設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTを解除する(50ページ)。




画面が白すぎて画像が見えない。

- FULL AUTOボタンを押してオートモードをオンにする。
- NIGHTSHOTを解除する(50ページ)。

再生について

「メモリーカードについて」(118ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。**画像を再生できない。**

- THUMBNAIL画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと画質を選択する(64ページ)。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかつたり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- THUMBNAIL画面を表示して、//ボタンで再生したいサムネイルを選択して、SETボタンを押す(66ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(138ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

故障かな？と思ったら(つづき)

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(66ページ)。

[— —]が表示される。

- [COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルでテレビやプロジェクター、AVアンプにつないで再生するとき、映像や音が出ない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。↔ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE]で映像信号出力形式を選択してください(104ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。故障ではありません。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- [DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(110ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってコピーができない。

- HDMIケーブルを使ってのコピーはできません。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェアのインストールが必要です(19ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶モニターまたはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(139ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 117ページの②～④の手順をお試しください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

⚡ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

🔋 (ビデオライト関連の警告)

- バッテリーレベルが低下している。

📷 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、28ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(28ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(95ページ)、あらかじめ画像をパソコンなどに保存(バックアップ)してから、メモリーカードを初期化する(96ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(97ページ)。

📷 (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(96ページ)。

📷 (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(28ページ)。

📷 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります(115ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

Inconsistencies found in image database file. Do you want to repair the image database file?

Inconsistencies found in image database file. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the image database file?

- 管理ファイルが破損しているので、動画撮影ができません。[OK]を選んで修復する。

Inconsistencies found in the image database file. Back up and recover. Recover, then import using the included PC software.

- 動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK]を選ぶと動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。修復したあと本機とソフトウェアをインストールしたパソコンをつなぐと、バックアップされた動画をパソコンに取り込むことができます。ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

Buffer overflow. Writing to the media was not completed in time.


- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、[Empty]を行いメモリーカードを完全に消去する(96ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(28ページ)。

Recovering data.


- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

 Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

 Cannot recognize this memory card. Format and use again.

- メモリーカードを本機でフォーマットする(96ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(28ページ)。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(28ページ)。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

その他


Maximum number of images already selected.

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除

エラーメッセージ


FTP転送時やストリーミング配信接続時にトラブルが発生した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示に合わせて対処を試みてください。

No registered access point.

アクセスポイントが登録されていません。 (NETWORK SET)メニューの[Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]からアクセスポイントを登録してください。

Cannot find connectable access point.

Set the access point setting.

アクセスポイントを発見できません。 (NETWORK SET)メニューの[Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]からアクセスポイントの設定を確認してください。

Connection to the access point failed.

Please input your password again.

アクセスポイントに接続できません。アクセスポイントのパスワードを入力し直してください。

Connection with an access point disconnected.



Check the connection condition.

アクセスポイントへの接続が切断されました。接続状況を確認してください。

No response from the access point.

アクセスポイントが反応していません。
アクセスポイントとの接続を確認してください。

Failed to acquire an IP address.**Change the IP address setting.**

IPアドレスを取得できません。
無線LANでネットワークに接続している場合は、 (NETWORK SET)メニューの[Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]からIPアドレスを手動で設定してください。
有線LANで接続している場合は、 (NETWORK SET)メニューの[WIRED LAN SET]からIPアドレスを手動で設定してください。

Network error occurred.

Wi-Fi通信に障害が発生しています。

Check the USB device connection.

USB機器の接続を確認してください。

Check the LAN cable connection.

ネットワークに接続できません。LANケーブルの接続を確認してください。

Failed to connect to an FTP server.**Check the FTP server settings.**

登録したFTPサーバーの設定を確認してください。

Failed to connect to an FTP server.

FTPサーバーが見つからないなどの理由で、FTPサーバーへの接続に失敗しました。

Could not verify the certificate.

FTPサーバーの証明書が正しくありません。

Connection to the FTP server disconnected.

FTPサーバーへの接続が切断されました。

Cannot upload to the FTP server.

FTPサーバーへの接続は成功しましたが、ファイルを転送できませんでした。転送先のディレクトリー設定または、FTPサーバー側の設定を確認してください。

Unable to access the media.

メモリーカードを読み込めません。メモリーカードが破損している可能性があります。

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

満充電からのおよその時間です。

撮影可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F770	260	130
NP-F970	400	200

ご注意

- 録画フォーマット
XAVC HD 1080/60i 50Mbps
- 内蔵マイクを使用し、[LCD BRIGHT] (109ページ)が[NORMAL]のとき
- メモリーカード使用時
- 実撮影時とは、撮影スタート/ストップ、電源ON/OFFなどを繰り返したときの撮影時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。10℃～30℃の環境で使用するをおすすめします。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。

再生可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	
NP-F770	410

撮影可能時間の目安

(単位:分)

XAVC QFHD

4K(QFHD)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	100 (100)	65 (65)

4K(QFHD) + PROXY (9M)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	85 (85)	55 (55)

XAVC HD

XAVC	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	120 (120)	170 (170)	220 (220)	120 (120)

XAVC + PROXY (9M)	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	100 (100)	135 (135)	160 (160)	100 (100)

XAVC + PROXY (3M)	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	110 (110)	155 (155)	195 (195)	110 (110)

MPEG HD 422

MPEG HD 422	1080	720
	50Mbps	50Mbps
64GB	110 (110)	110 (110)

MPEG + PROXY (9M)	1080	720
	50Mbps	50Mbps
64GB	95 (95)	95 (95)

MPEG + PROXY (3M)	1080	720
	50Mbps	50Mbps
64GB	105 (105)	100 (100)

MPEG HD 420

MPEG HD 420	1080	1080 (1440)	720
	HQ	HQ	HQ
64GB	175 (175)	175 (175)	170 (170)

MPEG + PROXY (9M)	1080	1080 (1440)	720
	HQ	HQ	HQ
64GB	140 (140)	140 (140)	135 (135)

MPEG + PROXY (3M)	1080	1080 (1440)	720
	HQ	HQ	HQ
64GB	160 (160)	160 (160)	155 (155)

AVCHD

■ [AVCHD AUDIO FORMAT]の設定が[LINER PCM]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	185 (145)
32GB	145 (145)	170 (170)	225 (225)	375 (290)
64GB	290 (290)	340 (340)	450 (450)	750 (590)

■ [AVCHD AUDIO FORMAT]の設定が[DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ
16GB	75 (75)	90 (90)	120 (120)	215 (165)
32GB	150 (150)	180 (180)	245 (245)	440 (330)
64GB	305 (305)	360 (360)	495 (495)	880 (665)

● ソニー製メモリーカード使用時。

● ()内は最低録画時間です。

◎ ご注意

● 撮影可能時間は、撮影環境や被写体の状態、[REC SET] (102ページ)によっても変わります。

♪ ちょっと一言

● 撮影可能シーン数は、XAVC HD/QFHD、MPEG HDで最大600個、AVCHDで最大3999個です。

● 連続撮影時間は、XAVC HD/QFHD、MPEG HDで約6時間、AVCHDで約13時間です。

● 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR (Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。

● 各記録方式のビットレート(動画+音声など)、画素数は以下のとおりです。

- XAVC QFHD
100Mbps 3840×2160画素
60Mbps 3840×2160画素
- XAVC HD
50Mbps 1920×1080画素
35Mbps 1920×1080画素
25Mbps 1920×1080画素
50Mbps 1280×720画素
- MPEG HD 422
50Mbps、1920×1080画素
50Mbps、1280×720画素

記録時間について(つづき)

- MPEG HD 420

HQ:最大35Mbps 1920×1080画素

HQ:最大35Mbps 1440×1080画素

HQ:最大35Mbps 1280×720画素

- AVCHD

PS:最大28Mbps 1920×1080画素

FX:最大24Mbps 1920×1080画素、

1280×720画素

FH:約17Mbps(平均) 1920×1080画素、

1280×720画素

HQ:約9Mbps(平均) 1280×720画素

記録時の機能制限について

ストリーミングON時の制約については89ページをご覧ください。

記録方式ごとの制約

○:使用できる ×:使用できない

機能	XAVC QFHD	XAVC HD	MPEG HD	AVCHD
リレー記録 (RELAY REC) (32ページ)	○	○	○	○
同時記録 (SIMULTANEOUS REC) (33ページ)	○	○	○	○
顔認識 (FACE DETECTION) (36 ページ)	○*1	○	○	○
プロキシー記録 (PROXY REC MODE) (40ページ)	○*2	○	○	×
リレー記録+プロキシー記 録 (60Mbpsの み)	○	○	○	×
同時記録+プロキシー記録 (60Mbpsの み)	○	○	○	×
ハイフレームレートのス ローモーション(58ページ)	×	○	×	×
スロー&クイックモーショ ン(S&Q MOTION) (58 ページ)	×	○	○	○
ストリーミング (STREAMING) (87ペー ジ)	○ (60Mbpsの み)	○	○	○
カラーバー(COLOR BAR) (102ページ)	×	○ (プロキシー記 録がOFFのと きのみ)	○ (プロキシー記 録がOFFのと きのみ)	○
日付記録 (DATE REC) (114ページ)	×	○ (インタレース 記録時)	○ (インタレース 記録時)	○ (インタレース 記録時)

*1 ストリーミング、プロキシー記録がOFFのとき。QFHD記録中出力がファインダー/パネルのとき。

*2 QFHD記録中出力がファインダー/パネルのとき。100Mbps時は同時記録/リレー記録がOFFのとき。

スロー&クイックモーションおよびハイフレームレート撮影時の制約

○:使用できる ×:使用できない

機能	スロー&クイックモーション	ハイフレームレートスローモーション(XAVC HDのみ)
リレー記録(RELAY REC) (32ページ)	×	×
同時記録(SIMULTANEOUS REC)(33ページ)	×	×
顔認識 (FACE DETECTION)(36ページ)	×	×
プロキシ記録 (PROXY REC MODE)(40ページ)	×	×
音声記録	×	×
フルオートでの撮影(49ページ)	×	×
スマートフォンのリモコン (78ページ)	×	×
ストリーミング (STREAMING)(87ページ)	×	×
デジタルエクステンダー(99ページ)	○	×
電子ズーム/クリアイメージ ズーム(100ページ)	○	×
手ぶれ補正(100ページ)	○	[ACTIVE]は不可
自動逆光補正(101ページ)	○	×
カラーバー(COLOR BAR) (102ページ)	×	×
日付記録(DATE REC)(114ページ)	×	×

ハイフレームレート撮影時は、上記のほかにも以下のような制約もあります。

- ブラックガンマが0に固定される。
- シャッタースピードに制限がある。最小値は1/120([60i]選択時)、1/100([50i]選択時)。
- HDMI出力が60pまたは60i([60i]選択時)、50pまたは50i([50i]選択時)に固定される。

プロキシー記録対応フォーマット

ⓘ ご注意

- 以下の3つを同時に選択した場合は、プロキシー記録できません。
 - 記録モード: 4K (XAVC QFHD)
 - 録画フォーマット[ビットレート]: 100Mbps
 - 同時記録/リレー記録: ON
- XAVC QFHD記録中出力を外部出力に設定したときは、プロキシー記録できません。
- AVCHDではプロキシー記録できません。

オリジナルファイル			プロキシーファイル						
画サイズ			1280×720			640×360			
フレームレート (fps)			60(50)p	30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p	
ビットレート (Mbps)			9	9	9	3	3	3	
3840× 2160	30(25)p	100		○			○		
		60		○			○		
	24p	100			○			○	
		60			○			○	
1920× 1080	60(50)p	50	○			○			
		35	○			○			
	60(50)i	50		○				○	
		35		○				○	
		25		○				○	
	30(25)p	50		○				○	
		35		○				○	
	24p	50			○			○	
		35			○			○	
	1280× 720	60(50)p	50	○			○		
1440× 1080	60(50)i	HQ		○			○		

ストリーミング対応フォーマット

オリジナルファイル(XAVC)			ストリーミングデータ					
画サイズ			1280×720			640×360		
	フレームレート(fps)	ビットレート(Mbps)	30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p	
			3	3	2	1	1	
3840×2160	30(25)p	60	○			○		
	24p	60		○			○	
1920×1080	60(50)p	50			○			
		35			○			
	60(50)i	50	○				○	
		35	○				○	
	30(25)p	50	○				○	
		35	○				○	
	24p	50		○			○	
		35		○			○	
	1280×720	60(50)p	50			○		

オリジナルファイル(AVCHD)			ストリーミングデータ					
画サイズ			1280×720			640×360		
	フレームレート(fps)	ビットレート(Mbps)	30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p	
			3	3	2	1	1	
1920×1080	60(50)p	PS						
	60(50)i	FX	○				○	
		FH	○				○	
	30(25)p	FX	○				○	
		FH	○				○	
	24p	FX		○			○	
FH			○			○		
1280×720	60(50)p	FX						
		FH						
		HQ						

オリジナルファイル(MPEG HD 422)			ストリーミングデータ				
画サイズ			1280×720		640×360		
	フレームレート(fps)		30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p
	ビットレート(Mbps)		3	3	2	1	1
1920×1080	60(50)i	50	○			○	
	30(25)p	50	○			○	
	24p	50		○			○
1280×720	60(50)p	50			○		

オリジナルファイル(MPEG HD 420)			ストリーミングデータ				
画サイズ			1280×720		640×360		
	フレームレート(fps)		30(25)p	24p	60(50)p	30(25)p	24p
	ビットレート(Mbps)		3	3	2	1	1
1920×1080	60(50)i	HQ	○			○	
	30(25)p	HQ	○			○	
	24p	HQ		○			○
1280×720	60(50)p	HQ			○		
1440×1080	60(50)i	HQ	○			○	


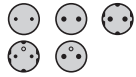

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。ACアダプターは、全世界の電源(AC100V~240V、50Hz/60Hz)で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねのうえ、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因になることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビで見るとは

60i、50iそれぞれの設定で見られる国と地域は下記の通りです。

[60i] 選択時に見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

[50i] 選択時に見られる国と地域

アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、

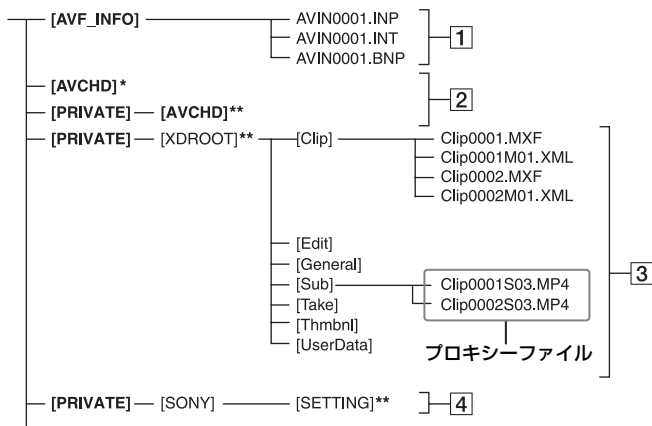
オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

時差補正機能について

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(114ページ)。

メモリーカードのファイル/フォルダ構成

本機のメモリーカード上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* “メモリスティック PRO デュオ”

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 AVCHD 動画管理情報フォルダ

AVCHDの動画用の記録データが保存されます。

3 XAVC/MPEG 動画管理情報フォルダ

XAVC/MPEGの動画用記録データが保存されます。

ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。

4 カメラプロファイル

カメラプロファイルのデータが保存されます。

- パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

- パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。

- 画像ファイルを削除するときは、95ページの手順で行ってください。パソコンから本機のメモリーカード内の画像ファイルを削除しないでください。

- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。

- パソコンから本機のメモリーカードにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

- メモリーカードのデータをパソコンに取り込むには、ソフトウェアをご使用ください(19ページ)。

使用上のご注意とお手入れ

XAVC規格について

本機での記録・再生について

本機ではXAVC規格に基づき、4K (QFHD)とHD高画質記録ができます。圧縮形式はLong GOP形式です。映像*: MPEG-4AVC/H.264

[60i] 選択時

3840×2160/30p、3840×2160/24p、1920×1080/30p、1920×1080/60i、1920×1080/30p、1920×1080/24p、1280×720/60p

[50i] 選択時

3840×2160/25p、1920×1080/50p、1920×1080/50i、1920×1080/25p、1280×720/50p
音声: LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は上記以外のXAVC規格で記録されたデータの再生には対応していません。

MPEG規格について

本機での記録・再生について

本機ではMPEG規格に基づき、HD記録ができます。圧縮形式はLong GOP形式です。

映像*: MPEG-2 MP@HL

[60i] 選択時

1920x1080/60i、1920x1080/30p、1920x1080/24p、1440x1080/60i、1280x720/60p

[50i] 選択時

1920x1080/50i、1920x1080/25p、1440x1080/50i、1280x720/50p

映像*: MPEG-2 422P@HL

[60i] 選択時

1920x1080/60i、1920x1080/30p、1920x1080/24p、1280x720/60p

[50i] 選択時

1920x1080/50i、1920x1080/25p、1280x720/50p

音声: LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は上記以外のMPEG規格で記録されたデータの再生には対応していません。

AVCHD規格について

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録ができます。

映像*: MPEG-4AVC/H.264

[60i] 選択時

1920×1080/60p、1920×1080/60i、1920×1080/30p、1920×1080/24p、1280×720/60p

[50i] 選択時

1920×1080/50p、1920×1080/50i、1920×1080/25p、1280×720/50p
音声: ドルビーデジタル 2ch、LPCM 2ch
記録メディア: メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

メモリーカードについて

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体にラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気が多い場所や腐食性のある場所

画像の互換性について


- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、96ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応していません。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)の高容量バッテリーNP-F970(別売)がお使いいただけます。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機やACアダプターとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、本機のCHGランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。






使用上のご注意とお手入れ(つづき)

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたくしておき、撮影の直前、本機に取り付けろ。
- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量表示マーク	%表示
	81%～100%
	51%～80%
	21%～50%
	1%～20%
	—

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に回らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内には特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶モニターやファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所です。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままでするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装が剥がれたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたらそのまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないまままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、本機の電源を切って24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]や[DELETE]では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

カードアダプターの使用は動作保証していません。

携帯電話や無線機などによる電波障害を防止するために

携帯電話や無線機などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは携帯電話や無線機などの電源はできるだけ切ってください。

主な仕様

一般

電源電圧	DC8.4 V(ACアダプター使用時) DC7.2 V(バッテリーパック使用時)
消費電力	ファインダー使用時、XAVC HDで録画中: 約6.3W 液晶モニター使用時、XAVC HDで録画中: 約6.6W
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~+60°C
本体外形寸法(突起部含む)	171.3 mm×187.8 mm×371.3 mm (レンズフード、大型アイカップ、バッテリー(NP-F770)を含む。グリップベルトを含まず。)(幅×高さ×奥行き)
本体質量	約1.9 kg(本体のみ) 約2.3 kg(レンズフード、アイカップ、バッテリー(NP-F770)を含む)

システム

信号方式	[60i]選択時: NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、1080/60p、720/60p方式 [50i]選択時: PALカラー、CCIR標準方式 HDTV 1080/50i、1080/50p、720/50p方式
------	--

ビデオ記録方式

XAVC QFHD: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile
XAVC HD: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:2 Long profile

XAVC Proxy: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile

MPEG HD422: MPEG-2 422P@HL 4:2:2 Long profile

MPEG HD420: MPEG-2 MP@HL 4:2:0 Long profile
MPEG HD Proxy: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile

AVCHD: MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD 2.0準拠

音声記録方式

XAVC QFHD: Linear PCM 2ch、24bit、48kHz

XAVC HD: Linear PCM 2ch、24bit、48kHz

XAVC Proxy: AAC-LC 2ch、16bit、48kHz

MPEG HD422: Linear PCM 2ch、24bit、48kHz

MPEG HD420: Linear PCM 2ch、16bit、48kHz

MPEG HD Proxy: AAC-LC 2ch、16bit、48kHz

AVCHD: Linear PCM 2ch、16bit、48kHz / Dolby Digital 2ch、16bit、48kHz

記録メディア

メモリースティック Proデュオ™ およびSDカード

カメラ部

撮像素子 1.0型 Exmor RS CMOSセンサー
総画素数:約2,090万画素

主な仕様(つづき)

	有効画素数: 約1,420万画素
ズーム倍率	4K時: 12x(光学ズーム)、18x(超解 像ズーム)、192x(デジタル ズーム) HD時: 12x(光学ズーム)、24x(超解 像ズーム)、192x(デジタル ズーム)
ホワイトバランス	Preset (屋内:3200K、屋外: 5600K±7 steps、色温度: 2300-15000K)、ワンプッ シュ A、B、オート切り換え可 能
最低被写体照度	[60i] 選択時: 1.7ルクス(LOW LUXモード オン時) [50i] 選択時: 1.7ルクス(LOW LUXモード オン時)
シャッタースピード	[60i] 選択時: 1/8秒 ~ 1/10,000秒(24p撮 影時は1/6秒 ~ 1/10,000秒) [50i] 選択時: 1/6秒 ~ 1/10,000秒
スロー&クイックモーション	XAVC HD/MPEG HD/ AVCHD フレームレート切り換え可能
ハイフレームレート	XAVC HD [60i] 選択時: 120 fps [50i] 選択時: 100 fps
ゲイン	-3、0、3、6、9、12、15、18、 21、24、27、30、33 dB、AGC
ガンマカーブ	切り換え可能

内蔵NDフィルター	OFF: CLEAR 1: 1/4ND 2: 1/16ND 3: 1/64ND
-----------	--

レンズ

レンズマウント	固定式
ズーム比	12倍(optical)、servo
焦点距離	9.3~111.6mm (35 mm換算29.0~ 348.0mm)
絞り	F2.8~F4.5(自動/手動切り 換え可能)
フォーカス範囲	自動/手動切り換え可能 10 mm~∞(広角端) 1000 mm~∞(望遠端)
手ぶれ補正	On/Off可能、シフトレンズ方 式
フィルター径	M62 mm

入/出力

ビデオ出力	マルチ/マイクロUSB端子 (x1)、ピンジャック(x1) Composite(1.0 Vp-p、 75 Ω)
オーディオ出力	マルチ/マイクロUSB端子 (x1)、ピンジャック(モノラ ル)(x1)
SDI信号出力	BNC型(x1)
HDMI信号出力	Type A(x1)
USB	マルチ/マイクロUSB端子 (x1)

○(ヘッドホン)出力
ステレオミニジャック
(Φ3.5mm)(x1)
スピーカー モノラル
オーディオ入力
XLR-type 3-pin(female)
(x2)、line/mic/mic +48 V切
り換え可能
DC入力 DCジャック
リモート端子
ステレオミニミニジャック
(Φ2.5mm)(x1)

定格出力 DC 8.4 V*
動作温度 0°C~40°C
保存温度 -20°C~+60°C
外形寸法 約48mm×29mm×81mm
(最大突起部をのぞく)(幅×
高さ×奥行き)
質量(本体のみ)
約180 g

* その他の仕様は、ラベルをご覧ください。

画面

液晶モニター
8.8 cm(3.5型)
約1.56Mドット
ファインダー
1.0 cm(0.39型) OLED
約1.44Mドット

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデ
ンサーマイク

ワイヤレスLAN

対応規格 IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯
2.4GHz帯
セキュリティ
WEP/WPA-PSK/WPA2-
PSK
NFC NFCフォーラム Type 3 Tag
準拠
ストリーミング
MPEG-2 TS/UDP
FTP FTP、FTPS

ACアダプターAC-L100C

電源 AC 100 V - 240 V、50 Hz/
60 Hz
消費電力 18W

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

アイリス	41
アイリスリング	41
アクセサリシュー	23
アクセスポイント	82
アフターサービス	146
インフォリチウムバッテリー	139
液晶モニター	26
エラーメッセージ	126
大型アイカップ	27
オートモード	49
屋外	44
屋内	44
お知らせメッセージ	125
主な仕様	143
音量	66

カ行

海外で使う	136
顔認識	36
拡大フォーカス	35
画面表示	17, 68
管理ファイル	97
機能制限	131
記録時間	128
記録方式	38
制約	131
警告表示	124
ゲイン	42
結露	140
広角	34
故障かな?と思ったら	117
コンセント	22

サ行

再生	64
削除	95
撮影	30
撮影可能時間	128
自己診断表示	124
シャッタースピード	43

充電時間	22
出力信号のフォーマット	72
準備	19
商標	150
初期化	96
ズーム	34
ズームリング	34
ズームレバー	34
ステータスチェック	69
ストリーミング	87
対応フォーマット	134
スマートフォン	78
スロー&クイックモーション	58
制約	132
接続	
テレビやモニターに	70

タ行

データコード	68
テレビ	70
電源コード	21
同時記録	33
ドロップフレーム	111

ナ行

内蔵充電式電池	141
ネットワーク機能	78

ハ行

ハイフレームレート	58
制約	132
バッテリー	21
ハンドルズーム	34
ハンドルズームレバー	34
ハンドル録画ボタン	33
ピクチャープロファイル	51
日付時刻	18, 25
日付時刻合わせ	24
ファインダー	26
視度調整ダイヤル	26
フォーカス	35

フォーカスリング	35
付属品	19
プロキシー記録	40
対応フォーマット	133
プロテクト	94
分割	94
ヘッドホン出力	48
ヘッドホン端子	15
望遠	34
保証書	146
ボタン電池	16
ホワイトバランス	44

マ行

マイク	
取り付け	9
内蔵	46
マルチインターフェースシュー	47
マニュアルレバー	42
マルチマイクロUSB端子	12
無線LAN	82
メニュー	98
一覧	99
AUDIO SET	104
CAMERA SET	99
DISPLAY SET	107
EDIT	116
NETWORK SET	112
OTHERS	114
REC/OUT SET	102
TC/UB SET	110
メモリーカード	
入れる/取り出す	28
ご注意	138
初期化	96
ファイル/フォルダ構成	137
本機で使える	28
"メモリースティック"	139

ヤ行

有線LAN..... 86

ラ行

ラストシーンレビュー..... 61
 リチャージャブルバッテリー
 パック..... 21
 リモコン..... 16
 リレー記録..... 32
 ルート証明書..... 92
 レンズ..... 11, 141
 レンズカバー..... 11
 録画..... 30
 録画フォーマット..... 38
 録画ボタン..... 33
 録画ランプ..... 10, 115

A

ACアダプター..... 19, 21
 AE SHIFT..... 120
 AGC LIMIT..... 99
 AIRPLANE MODE..... 113
 AREA SET..... 114
 ASPECT..... 108
 ASSIGN BUTTON..... 114
 ASSIGNボタン..... 62
 AUDIO LEVEL DISPLAY
 109
 AUDIO LEVELダイヤル
 46
 AUDIO LIMIT..... 104
 AUDIO OUT端子..... 12
 AUDIO SETメニュー..... 104
 AUTO BACK LIGHT ... 101
 AUTO MODE SET..... 101
 AUTO/MANスイッチ..... 46
 AVCHD..... 38, 138
 AVCHD AUDIO FORMAT
 104

B

BATT RELEASEボタン
 22

BEEP..... 115
 BLACK GAMMA..... 52
 BLACK LEVEL..... 52

C

CAMERA DATA DISPLAY
 109
 CAMERA PROFILE..... 114
 CAMERA SETメニュー
 99
 CENTER..... 108
 CHGランプ..... 21
 CH-1/CH-2スイッチ..... 46
 CLOCK SET..... 24
 COLOR BAR..... 120
 COLOR DEPTH..... 54
 COLOR MODE..... 53
 COLOR PHASE..... 54
 Content Browser Mobile
 78
 CONVERSION LENS.. 100
 CTRL W/SMARTPHONE
 112

D

D.EXTENDER..... 99
 DATA CODE..... 109
 DATE REC..... 114
 DC IN端子..... 21
 DELETE..... 95
 DETAIL..... 56
 DISPLAY OUTPUT..... 110
 DISPLAY SETメニュー
 107
 DISPLAYボタン..... 68
 DIVIDE..... 94
 DOWN CONVERT TYPE
 104

E

EDITメニュー..... 116

F

FACE DETECTION..... 36

FOCUS AUTO/MANボタン
 35
 FOCUS DISPLAY..... 109
 FOCUS MAG RATIO .. 108
 FOCUS MAGボタン..... 35
 FTP..... 90
 FTP TRANSFER..... 112
 FULL AUTOボタン..... 49

G

GAINボタン..... 42
 GAMMA..... 52
 GUIDEFRAAME..... 108

H

HDMI OUT端子..... 12
 HEADPHONE OUT 104
 HFR..... 58
 HISTOGRAM..... 107

I

INDOOR..... 44
 InfoLITHIUMバッテリー
 139
 INITIALIZE..... 115
 INPUT1/2スイッチ..... 46
 INPUT1/2端子..... 46
 INT MIC SET..... 105
 IRIS AUTO/MANボタン
 42

K

KNEE..... 53

L

LANGUAGE..... 114
 LAST SCENEボタン..... 61
 LCD BRIGHT..... 109
 LOW LUX..... 50

M

MANU WB TEMP..... 44
 MARKER..... 120

MEDIA FORMAT96
MENUボタン98
MIC+48V.....46
MPEG HD 422/MPEG HD
42038, 138

N

NDフィルタースイッチ43
NETWORK RESET113
NETWORK SETメニュー
.....112
NFC.....79
NIGHTSHOT50
NIGHTSHOT LIGHT....101

O

ON/STANDBYスイッチ
.....24
OPERATION TIME.....115
OTHERSメニュー.....114
OUTDOOR.....44

P

PEAKING120
PICTURE PROFILE102
POWER/CHGランプ12
PROTECT.....94
PUSHボタン11

R

REC BUTTON SET.....33
REC FORMAT38
REC LAMP115
REC SET102
REC/OUT SETメニュー
.....102
REMOTE CONTROL...115
REMOTE端子.....15
REPAIR IMAGE DB FILE
.....97
ROOT CERTIFICATE...113

S

S&Q MOTION58

S&Qボタン.....61
SAFETY ZONE108
SATURATION54
SCENE SELECTION SET
.....49
SDI OUT端子12
SHUTTER DISPLAY....109
SHUTTERボタン43
SIMUL/RELAY REC33
SLOT SELボタン.....29
START/STOPボタン.....31
STATUS CHECK114
STATUSボタン69
STEADYSHOT.....100
STREAMING87, 112
SUMMERTIME114

T

TC FORMAT111
TC MAKE111
TC PRESET57, 120
TC RUN.....111
TC/UB DISPLAY110
TC/UB SETメニュー.....110
THUMBNAILボタン.....65

U

UB PRESET.....57
UB TIME REC112
USB CONNECT115
USB LUN SET115

V

VERSION DISPLAY115
VF COLOR TEMP.110
VF/LCD PANEL110
VF/LCD PANELボタン.....27
VIDEO LIGHT.....101
VIDEO OUT.....103
VIDEO OUT端子12
VOLUME104

W

WB OUTDOOR LEVEL
.....99
WB PRESET99
WB SET99
WB SETボタン45
WB SHIFT56
WB TEMP SET99
WHT BALボタン.....44
Wi-Fi SET113
WIRED LAN SET112

X

XAVC HD38, 138
XAVC QFHD.....38, 138
XLR SET105


Z

ZEBRA120
ZOOM DISPLAY.....109
ZOOM SET100

数字

4Kモード.....38
60i/50i SEL115

商標について

- “XDCAM” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “XAVC” および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“Catalyst Browse”、“Content Browser Mobile”、“Content Browser Mobile” ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Dolby, ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android, Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi, Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO

LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号 (以下、AVC VIDEO といいます) にエンコードすること。
- (ii) AVC Video (消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたものの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます) をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容 (英文) に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMass Storage接続し、「PMHOME」→「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容 (英文) に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、
「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルを
ご一読ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

© 2016 Sony Corporation

Printed in China



4586803010